

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

席上配布資料
平成25年度第2回子ども子育て審議会

- 1 子ども参加
- 1-1 子どもの権利の尊重
- 1-1-1 子どもの権利

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
番号	担当課			実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0701	1重-1	子どもの権利に関する条例の策定 子どもの視点に立ち、子ども一人ひとりの最善の生き方を地域で実現することの基本となる「子どもの権利に関する条例」を策定する。 子どもの権利に関する条例策定委員会と引き続き連携しながら、条例策定に向けて市民の関心を高めるための広報活動をすすめていく。	継続	子育て支援課	実施	子どもの権利に関する条例策定委員会において調査検討をすすめる	休止	子どもの権利に関する条例策定について、平成20年1月から調査・検討を重ねてきた。その間様々な意見をいただいたことにより、平成23年度から委員会の活動を休止した。	休止	子どもの権利に関する条例策定について、平成20年1月から調査・検討を重ねてきた。その間様々な意見をいただいたことにより、平成23年度から委員会の活動を休止した。
0701	2	子どもの権利擁護のための啓発と広報の充実 市報やホームページ等を通じて、子どもの権利擁護についての啓発を行う。 子どもが参加できる機会や時期をとらえ、子どもの権利について理解を深めるために、児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)及び子どもの権利に関する条例の啓発活動を充実する。同時に、子どもの権利について、職員・教員や市民への研修会の開催、情報提供及び広報活動に努める。	継続	子育て支援課	実施	子どもヒアリングやホームページによる広報	実施	ホームページ等による広報	実施	ホームページ等による広報
1503				教育指導課	実施	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約(抜粋)」を活用し、教員研修や学習指導教材として人権教育の指導方法の理解を深めた。	継続	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約(抜粋)」を活用し、市教委主催の教員を対象とした研修を行い、人権教育の指導方法の理解を深めた。	継続	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約(抜粋)」を活用し、市教委主催の教員を対象とした研修を行い、人権教育の指導方法の理解を深めた。
0403	3 (再掲)4-3	人としての権利を尊重する教育の推進 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。	継続	文化振興課						
0404				協働コミュニティ課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)
1503				教育指導課	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施した。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め年間5回研修を実施し、その成果を各学校で周知した。	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-2 子どもの生活支援

				22.4月組 織改正	22年度			23年度		24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0703	1 重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。 児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>(再掲)1-2-2、4-1-1、4-4</p>	継続	児童青少年課	実施	<p>中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。</p>	実施	<p>平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想(公共施設適正配置計画も考慮)に向けて、児童館職員にヒアリングを実施するための準備を行った。</p>	継続	<p>児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。</p>	
0703	2 重-6	<p>青少年センター機能の整備</p> <p>児童館の再編成の中で、中高生や青少年の居場所施設としての青少年センター機能を付加した特化型児童館を整備していく。 青少年自身の企画・運営への参加を検討するとともに、青少年の学校外活動の情報収集、情報提供、子どもに関する相談活動等を行い、インターネット等を利用して活動の情報を提供する</p>	継続	児童青少年課	実施	<p>中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。</p>	実施	<p>中高生年代の利用者とのコミュニケーションや利用者アンケート等を通して、ニーズの把握に努めた。</p>	継続	<p>中高生委員会の立ち上げ等、利用者の意見を取り入れた事業展開を行った。</p>	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-2 子どもの生活支援

		22.4月組 織改正	22年度			23年度			24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0704		家庭教育支援事業の推進 親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。 また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・基幹型保育園と連携し子育て講座や子育て情報の提供を行った。 ・妊婦や父親が広場に集うきっかけとなるようプレパパママ事業2回、父親支援事業14回を実施した。	実施	・基幹型保育園と連携し、子育て情報の提供を行った。 ・子育て広場で父親に対する支援事業を12回実施した。	継続	・基幹型保育園と連携し、子育て情報の提供を行った。 ・子育て広場で父親に対する支援事業を12回実施した。
				保育課	継続	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を通して地域の子育て家庭の支援を行った。	実施	新たに基幹型保育園が建替えにより子育て広場を開設したため、更に、グループ交流、子育て講座の場が拡大し、地域の子育て家庭の支援の輪が広がった。	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参加があった。
				児童青少年課	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。
				健康課	継続	・ファミリー学級 1コース2日間(マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,217人 ・育児相談 12回開催 992人 ・子育て講座(歯科編) 24回開催 126組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ・ほっとサロン 11回開催 56組参加 ・離乳食講習会 12回開催 227人参加 ・ぱくぱく相談 23回開催 延べ211人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組	継続	・ファミリー学級 1コース2日間(マタニティークッキング含む) 16回開催 延べ参加者数 1,175人 ・育児相談 12回開催 988人 ・子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ・ほっとサロン 12回開催 113組参加 ・離乳食講習会 12回開催 228人参加 ・ぱくぱく相談 24回開催 延べ177人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組	継続	・ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、夫婦で参加しやすい環境を整え、家庭としての子育てイメージを持ってもらいながら準備ができるよう支援していく。また、その他の事業も引続き妊産婦や乳幼児の健康増進のための知識の普及等を行っていく。
0702		(再掲)3-2-2(1)								
0703										
0605	3		継続							
1603				公民館	継続	親子が触れ合う機会を提供する講座を9事業延べ13回実施した。「お父さんと手打ちうどんに挑戦しよう!」「パパ・ママ・子どものふれあいライブ」では、合計27人の父親の参加を得られた。	継続	親子が触れ合う機会を提供する講座14講座を延べ26回実施した。「お父さんと肉まんを作ろう」を実施し、父と子16人が参加した。	継続	・子育てに関する講座を6講座、述べ90回、親子がふれあう機会を提供する講座11講座を延べ22回実施した。 ・保育付のサークル22団体の活動を支援した。 「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
番号	実績				具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容		
0701	1 重-1	オンブズパーソン制度(いじめなどからの子ども救済システム)の具体的検討 いじめや不登校など、何らかの問題に遭遇した子どもたちからの相談が身近な場所でいつでも安心してできるよう相談体制を充実させる。 子どもの権利侵害に対して相談を受け、権利侵害があった場合に実態の調査・勧告・提言の権限を持って子どもに寄り添った対応をするため、子ども自身が相談できる子どもオンブズパーソンを具体的に検討する。	継続	子育て支援課	継続	西東京市子ども福祉審議会中間答申を受け、子どもの権利に関する条例策定委員会のなかで検討	継続	調査検討	継続	調査検討	
0704	2 重-11	要保護児童対策地域協議会の活用 要保護児童対策地域協議会の一環としての「実務者会議」を充実させ、ブロックごとに要保護児童等への支援が提供できるしくみを整備していく。 虐待される子どもの救済に迅速・有効に行動できるよう、関係機関のネットワークを強化していく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロック2回ずつ計10回の実務者会議を実施し、ケース検討会議52回を実施した。	継続	実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロック2回ずつ計10回の実務者会議を実施し、ケース検討会議62回を実施した。	継続	・実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロックで実務者会議を実施した。 ・個別ケースの支援を協議するためケース検討会議を61回実施した。 ・ケースの支援内容を確認するため、母子保健機関や教育機関等と進行管理会議を行った。	
0704	3	虐待・虐待再発防止のための学習機会の検討 虐待や虐待の再発を防止するため、親を対象とした学習の機会等を充実させる。	継続	子ども家庭支援センター	継続	多様化する保護者への対応や児童虐待問題に対応するため、子ども家庭支援センター職員1名が児童福祉司任用資格認定講習会に出席した。	充実	・多様化する保護者への対応や児童虐待問題に対応するため、子ども家庭支援センター職員3名が児童福祉司任用資格認定講習会に出席した。 ・児童虐待防止月間中に、市民まつり参加者を対象に虐待防止普及活動を実施した。	継続	・子ども家庭支援センター職員1名が児童福祉司任用資格認定講習会に出席し、全相談員が任用資格を取得した。 ・児童虐待防止月間中に、市民まつり参加者を対象に虐待防止普及活動を実施した。	
0704	4	里親制度(養育家庭)の推進 その役割や拡充が一層求められる傾向にある養育家庭・里親制度について広報・啓発をさらにすすめるため、関係部署との連携協力を努める。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は39名であった。 ・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。発表会を市広報誌に掲載することにより、制度の啓発を行った。	継続	・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は19名であった。 ・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。発表会を市広報に掲載することにより、制度の啓発を行った。	継続	・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は27名であった。 ・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。発表会を市広報に掲載することにより、制度の啓発を行った。	
1505	5	スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化 中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 (再掲)4-3	継続	教育支援課	継続	スクールカウンセラーが配置されていない小学校17校に対し教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーと教育相談センター派遣の心理カウンセラーが一堂に会する定期的な連絡会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続	新たに小学校4校への都スクールカウンセラー配置を実現した。まだ配置されていない小学校13校には、継続して教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーとの連携を強化するために、教育相談センターとの定期的な連絡会に加えて、必要に応じて教育相談センターと情報交換や相談を行った。	充実	都スクールカウンセラーが配置されていない小学校には、引き続き教育相談センターから心理カウンセラーを派遣した。都に対しては、全小学校へのスクールカウンセラーの配置の要望を引続き実施した。結果、平成25年度から中学校と同様に全校に配置することとなった。	
0703	6	地域アドバイザーの活動支援と連携の強化 小学校や児童館などで活動している心の東京革命推進協議会地域アドバイザーとの連携を強化し、活動の支援を推進する。	継続	児童青少年課	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。ぼしあーも(早期からのしつけ後押し事業)	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。ぼしあーも(早期からのしつけ後押し事業)	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。ぼしあーも(早期からのしつけ後押し事業)	
1505	7	スキップ教室(適応指導教室)の充実 いじめや情緒的混乱、学業不振等により不登校になっている子どものためのスキップ教室(適応指導教室)を充実し、学習支援や学校生活復帰への援助を在籍学校と連携して行う。入室児童・生徒数の増加に対応するため、教員・教室の整備等を長期的展望に基づいて推進する。	継続	教育支援課	継続	教科指導をはじめ、調理実習や校外活動等体験学習、キャリアサポート等を取り入れ、充実を図った。ケース会議により児童・生徒理解を深め、また、主任会議、合同全体会議等を開催し、両教室と教育相談センターとの情報交換、課題についての検討を行った。年度始めに学校訪問を行い、在籍校とは、担任連絡会のほか、必要に応じ、連絡調整を行った。	継続	入室時ガイダンスや相談を丁寧に行い、一人ひとりの通室目標や指導計画を明確にして指導した。在籍校との情報交換を密に行い、連携を図った。教室内でのケース会議で理解を深め、児童・生徒への個別の教科指導・生活指導及びカウンセリング機能の充実を図った。主任会議や入室検討会議を教育相談センターと連携して行い、指導の充実を図った。	継続	児童・生徒の社会的な自立を目指し、個別の教科指導・生活指導及びカウンセリング機能の充実を図った。そのために、入室検討会議、ケース会議を十分に行い、児童・生徒の理解に基づいた通室目標や指導方針を明確にしてきた。在籍校とは担任連絡会だけでなく、定期的に連絡調整や情報交換を行い、連携を行って来た。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

				22.4月組 組織改正	22年度		23年度		24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0704	8	子ども自身からの相談に対応できる相談システムの検討 子どものための相談窓口について子どもからの認知度が上がるように広報活動を強化する。子どもが相談しやすい方法を探るため、電話・インターネットで相談できる体制を検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約2840部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約8700部配布した。市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を掲載した。子どもからの相談件数が19・20年5件から21年18件、22年19件に増加した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> 小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約2,960部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約8,750部配布した。 市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を継続して掲載した。 市民まつりで、のどかのパンフレットを配布し、相談先についてのPR活動を行った。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約3000部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約9100部配布した。 市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を継続して掲載した。 市民まつりで、のどかのパンフレットを配布し、相談先についてのPR活動を行った。
1999				関係各課						
0701	9	子ども自身が身を守るための学習プログラムの推進 子どもが犯罪の被害者にならないように、子ども自身が暴力から自分の身を守ることを学習するプログラムの実施を推進する。	継続	子育て支援課	継続	子ども施策と子どもの権利に関する条例との関係について。子どもの権利に関する条例策定委員会のなかで検討	継続	検討	継続	検討
1999				関係各課						

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

		22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度			
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0703	1重-2	子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたいような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。 (再掲)1-2-2	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへ継続的に支援した。	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京などへ継続的に支援した。	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京については、実施団体からの事業の実施ができない旨の申し出があったため、下保谷児童センターにて児童館事業として、子ども参画によるミュージック・ダンスフェスを実施した。
				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着している。 ・青少年対象の公民館主催講座から、自主サークル2団体が誕生し、活動を継続している。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体であれば、団体登録が可能であり、部屋の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着している。
				文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月20日、21日実施 600名参加	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月19日、20日実施 600名参加	なし	特になし
				みどり公園課	検討	特になし	検討	検討	検討	検討
				子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討	検討	検討	検討	検討
				関係各課						
0703	2重-3	児童館の親子で参加できる行事や企画の充実 児童館事業として、親子で参加できる行事や企画を今後も継続し、充実する。	継続	児童青少年課	継続	ひろば事業や幼児親子対象のサークル活動、父親と参加するイベントなどを開催した。	継続	ひろば事業や幼児親子対象のサークル活動、父親と参加するイベントなどを開催した。	継続	ひろば事業や幼児親子対象のサークル活動、父親と参加するイベントなどを開催した。また、児童館職員協力のもと、茨城県行方市(災害時相互応援協定締結市)へ親子参加型農業体験事業を実施した。
0703	3重-2	子ども調査の推進 子どもたちがいつも使う施設について、利用のしやすさや事業内容等を定期的に評価し、改善提案等をしていく子ども調査の継続と意見反映システムを、魅力ある施設づくりのための条件と位置付けて推進する。	継続	児童青少年課	継続	下保谷児童館及びひばりが丘児童館においては今後の施設運営に中高生の声を反映させていくため、中高生委員会を立ち上げた。	継続	下保谷児童センター及びひばりが丘児童センターにおいては、施設運営や行事企画に中高生の意見や声を反映させていく中高生委員会等を設けた。 また、行事後の反省会を実施するなど、事業の改善提案の場を設けた。	継続	中高生が企画・実施した事業の反省会等を実施し、自ら評価して、次回へつなげる形を作った。
1604				図書館	実施	図書館の事業評価を実施した。	実施	図書館の事業評価を実施した。	継続 充実	図書館の事業評価のなかで、定期的な評価を実施した。それに基づき、YA資料の充実などをはかった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
番号	担当課			実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0703		防犯対策の充実 市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員・児童委員、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。また、不審者情報のネットワークづくりをすすめる、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。	継続	児童青少年課	継続	・市内全小学校の育成会連絡会において、地域支援による安全確保を図った。	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。
1503	(再掲)4-4	「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。		教育指導課	実施	・市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。	継続	・市内全小学校の学校安全連絡会において、引き続き、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。	継続	・市内全小学校の学校安全連絡会において、引き続き、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。
0411	4重-16			危機管理室	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。
1999				関係各課(警察)						
0703		子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進 災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポくんの家)を引き続き推進すると同時に、ピーポくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。	継続	児童青少年課	継続	育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ピーポくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。	継続	・育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ピーポくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。 ・ピーポくんの家活動の広報活動を実施	実施	・学童クラブ事業における災害時のインターネット上掲示板「安心伝言板」サービスの開始した。 ・「子ども110番ピーポくんの家」活動への支援の継続と市民周知を図った。
0411	5重-16	小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。 (再掲)4-4		危機管理室	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関(消防署・警察署)への災害時要援護者名簿の提供	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布(H23.11から)	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布
0703	6重-3	プレイヤーの養成と活用 プレイヤーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイヤー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 (再掲)1-2-2、3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	今年度、民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼びかけた	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
1601				社会教育課	検討	・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレイヤーの活用の機会について児童青少年課と協議した。	検討	・プレイヤー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。	検討	・プレイヤー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

22.4月組織改正			22年度			23年度			24年度		
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0402	7	農業体験の拡充 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 (再掲)1-2-2	継続	産業振興課	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。 平成22年9月26日に水菜と蕪の種まき、平成22年11月5、6日と水菜の収穫、11月27日は蕪の収穫を行った。参加者は親子20組51名。	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。栽培品目は、①かぶ ②ホウレンソウ。 (1)平成23年9月23日 種まきを実施 (2)平成23年11月5・6・19・26日 収穫を実施 参加者は、親子20組46名。市内産野菜の栽培を知り、子どもたちが都市農業と触れ合う機会となった。	実施	(1)「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。参加者は、親子20組40名。 (2)「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施計画」に基づく、【農のアカデミー体験実習農園】圃場での保育園・幼稚園・小学校単位での参加による農業事業を実施。延べ2,000以上の事業参加があった。	
0703	8	青少年育成会への支援の充実 青少年育成会の活動支援とともに、相互の交流活動等を支援することで、子ども同士や親も含めた地域社会との関わりをより広く体験できるようにする。	継続	児童青少年課	継続	・青少年育成会への支援を継続して実施した。 ・青少年育成会連絡会全体会事業「歩け歩け会」への支援を継続して実施した。	継続	・青少年育成会への支援を継続して実施した。 ・青少年育成会連絡会全体会事業「歩け歩け会」への支援を継続して実施した。	継続	・青少年育成会への支援を継続実施し、市報の1面に広報記事を掲載した。 ・育成会連絡会全体会事業「歩け歩け会」への支援を継続実施した。	
0701	9	地域の子育て協議会の設置 子育て家庭同士、さらには地域で子育てに関心を持っている人々をつなぐ「子育てグループの集い」を開催する等、地域のつながりを深める交流事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	子育て情報冊子に子育て関連団体情報を掲載。市民全体があらためて青少年を意識する日として「青少年の日イベント」を実施した。	実施	子育て情報冊子に子育て関連団体情報を掲載。	実施	子育てハンドブックに子育て関連団体の情報を掲載	
0404	10	子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。	継続	協働コミュニティ課	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを活用した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを運営する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	
0702				保育課	継続	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・妊婦や父親支援事業を16回行い、延370人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延267グループが利用し、活動した。	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延276人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延345グループが利用し、活動した。	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延456人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延404グループが利用し、活動した。	
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。	継続・充実	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施する。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育てサークル・団体の紹介とサークル・団体の横のつながりの場を作り、子育て世代への支援を行った。	
2002				社会福祉協議会	実施	社協地域活動拠点において、学生主体の子育てグループを支援した。社協地域活動拠点モデル事業「わくわくサロンのおはなし会」を開催した。(3回) 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育てグループに助成金を交付した。(4団体) 子育てサロン開設講座を実施した。(1回) 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 イベント情報の広報協力(掲示板、後援名義使用の支援) 武蔵野大学生との座談会実施「子育てネットワークづくり」コラボイベント開催の支援	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育てグループに助成金を交付した。(4団体) 子育てサロン開設講座修了者(平成23年2月より実施)への支援を実施した。(5回) 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供をした。 子育てフェスタに協力した。	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育て(支援)グループに助成金を交付した。(6団体) 子育てサロンの開設講座を実施した。 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 子育てフェスタに協力した。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号		実施・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正		22年度		23年度		24年度	
担当課	実績			具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容			
0402	11	地域通貨の活用の検討 子どもたちが地域でのボランティア活動などを通じて社会参加できるしくみとして、地域通貨の活用を「産業振興マスタープラン」の策定内容と連携して検討する。	新規	産業振興課	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品券について、平成22年11月21日から平成23年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。また、産業振興マスタープランにおいては、「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」ということで、今後検討を行っていく。	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品券について、平成23年11月20日から平成24年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。また、産業振興マスタープランにおいては、「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」ということで、西東京商工会と検討会を実施し、事例研究などを中心に行った。	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品事業については、事務事業評価の結果を踏まえて当初予算には計上しなかったが、商工会や議会などの要請も踏まえて補正予算を計上した。平成24年11月18日から平成25年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」については、平成23年度に引き続き検討を行い、とりまとめた内容について、西東京市と市内の商店街で行う西東京市商店会連絡会に報告した。	
0701				子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討	
1601		地域の人材発掘・活用の推進 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。	継続	社会教育課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成23年3月31日現在63人、124件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成23年3月31日現在21人から37講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成24年3月31日現在68人、141件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成24年3月31日現在25人から35講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成25年3月31日現在68人、128件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成25年3月31日現在28人から47講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。	
2002	(再掲)3-2-1、4-3			社会福祉協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷・武蔵)。福祉体験授業への協力(田無)。小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校30プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)。小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(10校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)。小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。	
2003				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・理科 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・国語 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)	
1999				関係各課							
0701	13重-2	ファミリーターの養成と活用 社会活動への子どもの参加を促進するために、ファミリーターの育成事業を検討実施する。また、子どもの意見を取り入れ、参加を促進する場面へのファミリーターの活用を検討していく。	新規	子育て支援課	検討	検討	検討	検討	検討	検討	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
1重-2	0403	子どもの公共施設利用促進の方法の検討 公共施設や事業の企画・運営・利用への子どもの参加や、年齢に応じた子どもだけの利用を進める。また、利用料の減免、利用申込資格など、子どもが利用しやすい運営を検討する。	継続	文化振興課	実施	指定管理者5館(南町、緑町、芝久保、東伏見コミセン・ふれあい)において、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習、調理をする場所として定着している。	実施	指定管理者5館(南町、緑町、芝久保、東伏見コミセン・ふれあい)において、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習、調理をする場所として定着している。	実施	指定管理者4館(南町、緑町、芝久保、ふれあい)と東伏見コミセンにおいて、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習、調理をする場所として定着している。
	0703			児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、特化型児童館については、中学生委員会やアンケート調査を実施し、その意見を反映するとともに児童館利用を促進させた	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、特化型児童館については、中学生委員会等で施設運営や行事企画に中学生の意見や声を聞き、反映させた。また、行事後の反省会を実施するなど、事業の改善提案の場を設け児童館利用を促進した。	継続	子どもたちが主体となる実行委員会や中高生委員会等を組織し、児童のニーズに合った事業を展開するとともに事業完了後反省などでニーズ把握や意見交換を行った、
	1603			公民館	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料
	0101			企画政策課	検討	・子どもたちを含めた幅広い世代のニーズを考慮しながら、市内全体の公共施設の適正配置・有効活用についての検討を進め、今後の全体的な取組の方針となる「公共施設の適正配置に関する基本方針」を策定した。	検討	・子どもたちを含めた幅広い世代のニーズを考慮しながら具体的な検討を進め、施設分野ごとの見直しの方向性や取組スケジュール等を整理した「公共施設の適正配置に関する基本計画」を策定した。また、この基本計画を受けて、具体的な3か年の取組を示した「公共施設の適正配置等を推進するための実行計画」を策定した。	検討	「公共施設の適正配置等を推進するための実行計画」に基づき、子どもたちを含めた幅広い世代のニーズを考慮しながら、市内全体の公共施設の適正配置・有効活用についての検討を進めた。
	1999			関係各課						
2重-2	0703	子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進(再掲)	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへ継続的に支援した。	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京などへ継続的に支援した。	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京については、実施団体からの事業の実施ができない旨の申し出があったため、下保谷児童センターにて児童館事業として、子ども参画によるミュージック・ダンスフェスを実施した。
	1603	また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。(再掲)1-2-1		公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・若者による保谷駅前公民館の音楽練習室の利用が定着している。 ・青少年対象の公民館主催講座から、自主サークル2団体が誕生し、活動を継続している。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は若者の利用が定着している。
	0403			文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月20日、21日実施 600名参加	実施	東伏見コミュニティセンターにて実施する「コミセンまつり」では、児童青少年も企画・運営に携わって利用者交流イベントを実施している。 11月19日、20日実施 600名参加	なし	特になし
	0802			みどり公園課	検討	特になし	検討	検討	検討	検討
	0701			子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討	検討	検討	検討	検討
1999		関係各課								

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

22.4月組織改正		22年度			23年度			24年度		
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0802	3重-2	子ども参加型ですすめる遊び場づくりの推進 公園等の遊び場の設置・改善を子どもが企画等を中心に行う子ども参加型ですすめ、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。	新規	みどり公園課	検討	特になし	検討	検討	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	子どもの権利に関する条例策定委員会において、子ども参加の手法について調査検討	検討	検討	検討	検討
0703	4重-2	子ども参画による生涯学習事業の推進 子どもが対象となる生涯学習事業については、児童館や公民館等と連携し、企画・運営への子ども自身の参画の推進を図る。	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、高校生年代のスタッフが中心となって企画・運営する「中高生年代プロジェクト」を実施した。	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、高校生年代のスタッフが中心となって企画・運営する「中高生年代プロジェクト」や音楽イベント等を実施した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・若者による駅前公民館の音楽室練習室の利用が定着しつつある。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・若者による駅前公民館の音楽室練習室の利用が定着している。 ・青少年対象の公民館主催講座から、自主サークル2団体が誕生し、主体的に活動を継続している。	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は若者の利用が定着している。
0703	5重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲)4-1-1、4-4	継続	児童青少年課	実施	中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。	実施	平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想(公共施設適正配置計画も考慮)に向けて、児童館職員にヒアリングを実施するための準備を行った。	継続	児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。
0703	6重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレリーダーを配置していく。 (再掲)3-2-2-(2)、4-4	継続	児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力した行事などを継続的に実施した。 放課後子ども教室は、2/19校で開設され情報共有を行う程度であった。
1601				社会教育課	検討	・児童青少年課との協議	検討	・先進市における放課後子供教室事業の視察や社会教育委員の会議における提言内容を整理し、事業の実施に向けた具体的な検討を行う。	実施	・放課後子供教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。
0703	7	屋外の遊び場の充実 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレリーダーの派遣を推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施し、児童館事業への参加を推進する。⇒ ひばりが丘児童館の建替えにあたり屋外にフットサルコートを整備した。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
0802				みどり公園課	検討	特になし	検討	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区(都市計画施設)の指定を計画。	実施	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区として指定した。
0703	8	プレリーダーの養成と活用(再掲) プレリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1、(再掲)3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	今年度、民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼び出した。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
1601				社会教育課	検討	・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレリーダーの活用について児童青少年課と協議した。	検討	・プレリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。	検討	・プレリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。
0701	9	中学校の余裕教室を活用した「自習室」事業の検討 放課後や休日の中学校の教室を活用して自習室やグループ学習室への開放事業、地域のボランティアと協力した中学生の自主的活動などを検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
1999				関係各課						

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

22.4月組織改正		22年度			23年度			24年度		
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
1602	10	屋内の居場所の充実 総合体育館やスポーツセンターの個人開放事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	スポーツセンター個人開放事業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業 (バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業 (バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。	実施	スポーツセンター個人開放事業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業 (バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業 (バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。	実施	スポーツセンター個人開放事業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業 (バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業 (バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。
0402		各地域に小さい拠点(居場所)づくりの推進 「街なかサロン事業」と連携し、市内の店舗や民家等の一角を提供してもらい、談話コーナーやパソコンの設置等により、気楽に情報検索や語らえる場づくりを検討する。	新規	産業振興課	中止	平成22年度に策定した産業振興マスタープランにおいては、街なかサロン事業の実施は位置づけられていない。	未実施	予算措置なし。	未実施	予算措置なし。
0701	子どもに理解がある地域協力者を募り、家や部屋開放など、地域の中に居場所づくりをすすめる。	子育て支援課		検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討	
2002	11			社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して、武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行った。(街なかサロンにここで実施) 夏！体験ボランティア西東京2010を実施(小学生～社会人 101名参加)	実施	地域活動拠点を活用して、武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行った。(街なかサロンにここで実施) 平成22年2月より実施の「子育てサロン」開設講座が震災の影響により開催延期となったため、平成23年度に修了者の支援を、5回実施した。	実施	地域活動拠点の活用。 武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行う。(街なかサロンにここで実施) 地域住民による持ち寄り昼食会の中で、高齢者と親子の交流を図った。(芝久保サロンしゃくなげにて実施) 「子育てサロン」を地域の中で実践できる人材を発掘、養成するために開設講座を実施した。 夏！体験ボランティア西東京2012を実施(小学生～社会人 156名参加)
0703	12	出前児童館の充実 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 (再掲)4-1-1	継続	児童青少年課	継続	地域特性等に応じた出前児童館を引き続き実施した。	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。
0403		音楽練習室等活用の推進 音楽練習室の子どもによる利用を促進するとともに、施設の拡充を引き続き検討する。	継続	文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。
0703	13			児童青少年課	実施	下保谷児童館を建替え、下保谷児童センターとしてリニューアルオープンに合わせスタジオ、ライブスタジオを整備した	実施	サマーフェスティバルやウィンターフェスティバルの実施により、市民に、スタジオの存在をPRした。また、フェスティバルという目標設定をしたことで、それに向けての練習場所としてのスタジオ利用を増やすことができた。	実施	市内の高校の軽音楽部の顧問へのPRやミュージック・ダンスフェスを新規で実施したことにより、新規利用者の開拓を行うことができた。
1999				関係各課						
1604	14	図書館の子どもスペースの充実 現在の子どもスペースの拡充、グループで談話しながら利用できる場、中高生の参加を得ながら図書館利用を推進する。	継続	図書館	継続実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代を対象として広報誌の作成に参加させることを検討し、実施計画に基づき要領等を作成。要領等に基づき、参加者を募集し、決定した。	継続実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説明会議2回と共同編集会議6回を実施して、広報誌を3回発行した。	継続実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説明会議1回と共同編集会議6回を実施して、広報誌を3回発行した。
1604	15	図書館利用者交流会の検討 カウンターで直接、さらには投書での利用者の意見や要望の反映にとどまらず、選書や運営について意見を聞く場づくりを検討する。	新規	図書館	一部実施	個別計画のパブリックコメントや講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。	一部実施	講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。	一部実施	講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。
1604	16	読み聞かせリーダー育成事業の推進 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 (再掲)3-2-2-(1)	継続	図書館	継続実施	読み聞かせボランティア養成講座(連続3回)を実施した。講座受講者は、各館おはなし会へ参加。	実施	フォローアップ講座(2回)を実施 養成講座受講生の継続的活動支援をおこなった。	実施	フォローアップ講座(2回)を実施 養成講座受講生の継続的活動支援をおこなった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0402	17	農業体験の拡充(再掲) 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。	継続	産業振興課	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。平成22年9月26日に水菜と蕪の種まき、平成22年11月5、6日と水菜の収穫、11月27日は蕪の収穫を行った。参加者は親子20組51名。	実施	「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。栽培品目は、①かぶ ②ホウレンソウ。 (1)平成23年9月23日種まきを実施 (2)平成23年11月5・6・19・26日収穫を実施 参加者は、親子20組46名。市内産野菜の栽培を知り、子どもたちが都市農業と触れ合う機会となった。	実施	(1)「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。参加者は、親子20組40名。 (2)「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施計画」に基づく、【農のアカデミー体験実習農園】圃場での保育園・幼稚園・小学校単位での参加による農業事業を実施。延べ2,000以上の事業参加があった。
0403	18	子ども向けの芸術・文化・スポーツの振興 市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、地域や社寺のまつり、各種施設の行事など、各種の催しやイベントを通じて、子どもたちが芸術・文化・スポーツなどに親しみ、体験できるよう、子ども向けの企画・運営を充実する。	継続	文化振興課	実施	市民まつり:都立保谷高校のボランティア参加、児童対象はしご車体験、キックターゲット、キャラクターショーの実施等。参加者約168,000人。 市民文化祭:碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、箏曲子ども向けワークショップ実施、総合プログラムを小中学校の生徒へ配布。参加者約17,000人。 どんど焼:明保中、保二小、上向台小で実施。参加者約4,008人。	実施	市民まつり:都立保谷高校のボランティア参加、児童対象はしご車体験、キックターゲット、キャラクターショーの実施等。参加者約175,000人。 市民文化祭:碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、箏曲子ども向けワークショップ実施、総合プログラムを小中学校の生徒へ配布。参加者約16,800人。 どんど焼:明保中、保二小、上向台小で実施。参加者約3,123人。	継続	・市民まつり:都立保谷高校のボランティア参加、警察車両等展示、キックターゲット、キャラクターショーの実施等。ポスター・チラシのデザインについては、小中学生を対象に絵画を募集し、4作品を採用。その他の作品は、谷戸公民館1階に展示。参加者約165,000人。 ・市民文化祭:碧山小学校、ひばりが丘中学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、箏曲子供向けワークショップ実施、総合プログラムを小中学校の児童・生徒へ配布。来場者約15,800人。 ・どんど焼:明保中学校、保谷第二小学校、上向台小学校で実施。参加者約4,070人。 ・平成24年3月に策定した「西東京市文化芸術振興計画」に基づき、子供たち向けのオーケストラ体験ワークショップを実施し、その受講生出演による西東京市文化芸術振興シンフォニーコンサートを開催した。また、保谷第二小学校と碧山小学校へのアウトリーチ演奏会(東京ニューシティ管弦楽団員によるアンサンブルコンサート)を実施した。
図書館				実施	下保谷児童館・新町児童館との共催おはなし会の継続 新町のお祭りへの会場提供 芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供 継続 田無公民館まつりへの参加	実施	下保谷児童館・新町児童館との共催おはなし会の継続 新町のお祭りへの会場提供 芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供 継続 田無公民館まつりへの参加 「第2期子ども読書活動推進計画」周知のための行事「子どもの本まつり～子どもと本をつなぐために～」を実施し、約300名の参加があった。	継続 実施	下保谷児童館・新町児童館との共催おはなし会の継続 新町のお祭りへの会場提供 芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供 継続 田無公民館まつりへの参加	
公民館				実施	・主催講座の実施 「したのや縄文キッズくらぶ」「フードコーディネーターによる料理・食材レッスン」「子ども日本舞踊講座」「子ども音楽講座」「科学あそび講座」「キッズ茶道講座」「子ども陶芸講座」	実施	・主催講座の実施 「したのや縄文キッズくらぶ」「演劇でコミュニケーション!」「フードコーディネーターによる料理&食材レッスン」「模型飛行機をつくって飛ばしてみよう」「ハロウィン人形を作って遊ぼう」「子ども料理教室」「キッズ日本文化体験教室」「科学の本とあそび講座」「身近な材料を使ってペーパーグライダーを飛ばそう」「手すきをして和紙を作ろう」「くるくるまわるモーターを作ろう」「お手玉を作ろう」「こえだ・木の実で森や林の立体工作をしよう」「しかけ絵本の立体工作」	実施	・主催講座の実施 「キッズアカデミーさき織体験編」「キッズアカデミー縄文体験編」、「キッズアカデミー親子で手作り凧揚げ編」「料理&食材レッスン」「エコ紙とんぼ工作教室」「キツネ人形を作って遊ぼう」「子ども料理講座 大豆ご飯と魚料理にチャレンジ!」「子ども文化体験講座 ～みんなで大正琴を弾いてみよう!」「ペーパーグライダーの工作と飛行実験」、「身近な材料を使って手すきの和紙をつくろう」「お手玉作りをお裁縫からはじめると」「丸太切りと木の実で立体工作」「ロボットをつくろう」	
子育て支援課				実施	趣旨について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討	検討	検討	検討	検討	
スポーツ振興課				実施	体育の日に市民スポーツまつりを実施。 秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。 9月に小学生ドッジボール大会3・4年生大会、2月に小学生ドッジボール大会5・6年生大会を実施。 2月に小学生ミニバスケットボール大会を実施。 7月・11月に少年サッカー教室、11月に少年野球教室を実施。(指定管理者) その他各種教室を通年で実施。(指定管理者)	実施	体育の日に市民スポーツまつりを実施。 秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。 9月に小学生ドッジボール大会3・4年生大会、2月に小学生ドッジボール大会5・6年生大会を実施。(スポーツ推進委員) 3月に小学生ミニバスケットボール大会を実施。 7月・11月に少年サッカー教室、11月に少年野球教室を実施。(指定管理者) その他各種教室を通年で実施。(指定管理者)	実施	体育の日に市民スポーツまつりを実施。 秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。 6月・12月に早稲田大学野球教室を実施。 2月にロードレース大会を実施。 7月に小学生ドッジボール大会3・4年生大会、2月に小学生ドッジボール大会5・6年生大会を実施。(スポーツ推進委員) 3月に小学生ミニバスケットボール大会を実施。 7月・11月に少年・少女サッカー教室、11月に少年・少女野球教室を実施。(指定管理者) その他各種教室を通年で実施。(指定管理者)	
2002	19	地域活動体験の拡充 青少年育成会等を通じて、子どもたちが地域の環境美化や福祉等のボランティア活動に参加できる機会を拡充する。	継続	社会福祉協議会	実施	市が行う環境ポスターの掲示に、ふれあいのまちづくり住民懇談会とともに協力した。 (15小学校の児童のポスターを掲示)	終了		実施	「社会を明るくする運動～あいさつ強調週間」に協力。市立小中学校正門にて朝のあいさつ運動実施
0703		社会福祉協議会や地域の人材等と連携することにより、児童・生徒が主体的に取り組むボランティア活動を行い、人と関わる体験を深め、自主性・自立性を高める。		児童青少年課	継続	児童館において中学生の職業体験を受け入れた。	継続	児童館において中学生の職業体験を受け入れた。各青少年育成会の実施する「どんど焼き」等子どもたちが地域活動体験が出来る場の支援を行った。育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。	継続	児童館において中学生の職業体験を受け入れた。各青少年育成会の実施する「どんど焼き」等子どもたちが地域活動体験が出来る場の支援を行った。育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
1603	20	ものづくり体験の拡充 公民館での子ども向け事業に、子どもたちがものづくりを体験できる企画を拡充する。	継続	公民館	実施	主催講座の実施 「夏休み陶芸教室」「針穴カメラワークショップ」「子どもいろいろ体験教室」	実施	・主催講座の実施 「したのや縄文キッズくらぶ」「模型飛行機をつくって飛ばしてみよう」「ハロウィン人形を作って遊ぼう」「手すきをして和紙を作ろう」「くるくるまわるモーターを作ろう」「お手玉を作って遊ぼう」「こえた・木の実で森や林の立体工作をしよう」「しかけ絵本の立体工作」	実施	講座の実施 「キッズアカデミーさき織体験編」 「キッズアカデミー親子で手作り凧揚げ編」「エコ紙とんぼ工作教室」「キツネ人形を作って遊ぼう」「ペーパーグライダーの工作と飛行実験」、「身近な材料を使って手すきの和紙をつくろう」「お手玉作りをお裁縫からはじめると」「丸太切りと木の実で立体工作」「ロボットをつくろう」
0403	21	各国の子どもが集える事業の検討 参加者の企画参加による、留学生と高校、大学、社会人を対象とする「多文化交流キャンプ」の検討と宿泊型キャンプ等を通じた国際理解の推進を図る。地域の人々と各国の子どもたちや子育て家庭が集える祭り事業などを、既存のイベントの活用を図りながら検討する。	新規	文化振興課	実施	・8月6日及び7日にNPO企画提案事業「ひょうたん島ワークショップ」を実施	実施	・11月5日にNPO企画提案事業「ひょうたん島ワークショップ」を実施	実施	NPO等企画提案事業「世界とつながろうwith Kids」を実施。年3回実施。参加者(延べ):大人33人、子ども29人。
0701				子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
0403	22	青少年海外派遣事業の検討 青少年が世界に目を向け国際理解が進むように、青少年海外派遣事業を検討する。	新規	文化振興課	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。
0701				子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
0802		身近にボール遊びのできる場所の検討		みどり公園課	検討	特になし	検討	検討	検討	検討
1602	23	身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケ、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	健康広場個人開放事業(指定管理者)	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)
0703		(再掲)4-4		児童青少年課	実施	中高校生年代に対する魅力ある児童館づくりの一環としてひばりが丘児童館の建替に合わせフットサルコートを整備した。	継続	特になし	継続	ハード面の設置までは至らなかったが、遊戯室の利用を時間で区切るなどして、他種目のスポーツの実践に努めた。
0302		おとな利用が中心となる施設に子どもの遊び場併設の検討 おとな利用が中心となる公共施設に、子どもの遊び場の併設を検討する。		管財課	実施検討	保谷庁舎では子どもが市民広場の芝生で自由に遊ぶことができるようになった。(ボール遊び等スポーツは禁止。)田無庁舎については21年度同様検討を継続した。	実施検討	保谷庁舎については、子供が市民広場の芝生で自由に遊べるようになっている。田無庁舎については、昨年度と同様に既存施設内に余剰スペースが無いためスペースの確保、設置時の執務室等への影響等の検討を継続した。	実施検討	保谷庁舎については、子供が市民広場の芝生で自由に遊べるようになっている。田無庁舎については、昨年度と同様に既存施設内に余剰スペースが無いためスペースの確保、設置時の執務室等への影響等の検討を継続した。
0403	24		新規	文化振興課	実施	・芝久保地区会館:児童館併設 ・東伏見コミュニティセンター:子どもが集まる場として館が機能 ・コール田無:ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館:夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放 ・保谷こもれびホール:公演時における保育機能あり	実施	・芝久保地区会館:児童館併設 ・東伏見コミュニティセンター:子どもが集まる場として館が機能 ・コール田無:ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館:夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放 ・保谷こもれびホール:公演時における保育機能あり	実施	・芝久保地区会館:児童館併設 ・南町・緑町地区会館:簡易図書室(個人利用可) ・コール田無:ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館:夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放 ・保谷こもれびホール:公演時における保育機能あり
1603				公民館	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学習等は、既に行われている。	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学習等は、既に行われている。	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学習等は、既に行われている。
1999				関係各課						
1602	25	「総合型地域スポーツクラブ」事業の推進 子どもたちが放課後や休日に、公共施設や学校施設等でスポーツを楽しめるよう、「総合型地域スポーツクラブ」事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	継続新規	補助金の交付や、市報を通じてクラブの事業をPRするなど、既設のクラブ(にしはらスポーツクラブ)の活動支援を実施。また、新たに東伏見地域のクラブ設立に向けて、助言指導等を行った。	継続	補助金の交付や、市報を通じてクラブの事業をPRするなど、クラブの活動支援を実施。	継続	補助金の交付や、市報を通じてクラブの事業をPRするなど、クラブの活動支援を実施。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 繰り直し			22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容		
701	1 重-2	子ども参画による広報紙づくりの検討 公民館、図書館などの広報紙の取材や紙面づくりへの子ども参加を検討する。	新規	子育て支援課	調査 検討	「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会内で調査・検討	検討	検討	検討	検討		
1603				公民館	調査 検討	ミニコミ紙の廃刊が続く中、地域情報の発信と紙面づくりに参画できる双方向性を重視した編集を検討する予定。子ども参加は、その中での検討事項。	調査 検討	地域情報の発信と紙面づくりに参画できる双方向性を重視した編集を検討している。 職場体験の中学生が公民館だよりの取材やレイアウト会議に参加した。	調査 検討	・職場体験の中学生が公民館だよりの編集の一部を体験した。		
1604				図書館	継続 実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代を対象として広報誌の作成に参加させることを決定し、実施計画に基づき要領等を作成。 要領等に基づき、参加者を募集・決定した。	継続 実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説明会議2回と共同編集会議6回を実施して、広報誌を3回発行した。	継続 実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説明会議2回と共同編集会議6回を実施して、広報誌を3回発行した。		
0103	2 重-4	市報や市のホームページの子ども向け情報の充実 子どもにとって読みやすい市報づくりと子ども向け情報の充実、さらには市のホームページの「キッズページ」を拡充する。	継続	秘書広報課	継続	市報については、成人（保護者）向け一般市政記事が主なため全ての市報内容についての子ども向けは、現実的に不可能である。担当課より子ども向け原稿の依頼があった場合は、事業写真やイラスト等を使い子どもたちの目に付くような紙面を心がけるとともに、内容についても理解しやすいよう努める。ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載することで新しい切り口での情報提示を行った。	継続	担当課より子ども向け原稿の依頼があった場合は、事業写真やイラスト等を使い子どもたちの目に付くような紙面を心がける。 ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載する。	継続	市報については担当課からの子ども向け原稿に応じて、事業写真やイラスト等を使い子どもたちに理解しやすい紙面を心がけた。また、ホームページについては、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載した。		
1999				関係各課								
0103	3	子ども向け情報提供方法の検討 西東京市のホームページ等とリンクした子ども向けホームページの充実や、子どもへの広報を拡充する。 インターネット等で子ども向け情報を子どもたちが収集しやすいように、学校など子どもの身近な場所にパソコンを設置するように努める	継続	秘書広報課	継続	ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載することで新しい切り口での情報提示を行った。	継続	ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載する。	継続	ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載した。		
1501				教育企画課	継続	小・中学校の児童・生徒向けの広報紙を発行するよう継続して予算化し、市立学校の1年間の取組を掲載した『西東京の教育47号』を3月15日に発行した。また、子ども記者コーナーを年度内発行の『西東京の教育』43号から46号まで連続して掲載、中学生の取材・執筆による自然・環境をテーマにした記事を掲載した。	継続	小・中学校の児童・生徒向けの広報紙を発行するよう継続して予算化し、市立学校の1年間の取組を掲載した『西東京の教育第52号』を3月15日に発行した。また、子ども記者コーナーを年度内発行の『西東京の教育』48号から51号まで連続して掲載、中学生の取材・執筆による自然・環境をテーマにした記事を掲載した。	継続	教育委員会の広報「西東京の教育」において小・中学生の取材・執筆による「子ども記者コーナー」や「新・子ども記者コーナー」の記事を年度内発行の54号から56号まで掲載した。		
1503				教育指導課	実施	・教員研修において「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。	実施	・平成23年度中に学校ホームページシステムを再構築し、学校に関する情報をより迅速にわかりやすく提供できるようにした。 ・教員研修において引き続き「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。	実施	・学校のホームページに関する教員対象の研修を実施して、教員のスキルアップを図った。 ・教員研修において引き続き「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。		
0701				子育て支援課	継続	基となる「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討	調査 検討	調査 検討	調査 検討	調査 検討		
1503	4	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進 教科の学習や総合的な学習の時間でのコンピュータの活用など、多様な情報機器を活用した学習を推進するとともに、子どもと青少年が各年齢層に見合った方法で必要な情報に適切にアクセス・発信できるように、その成長発達段階に応じたメディアリテラシーの育成を推進する。 (再掲)4-3	継続	教育指導課	実施	・情報教育担当者連絡会を2回実施し、情報教育の充実を図った。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図る。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図った。また、各教科の調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

所管課番号		番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22年度 実績	具体的な 取り組み内容	23年度 実績	具体的な 取り組み内容	24年度 実績	具体的な 取り組み内容
0403	5 重-4		すべての子どもに必要な情報を届けるしくみの整備 日本語を母語としない子どもや、障害のある子どもが必要な情報にアクセスしやすい方法やしぐみについて検討する。	新規	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。多言語版生活便利帳は隔年発行のため、今年度は発行しなかった。	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行した。2,000部。市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。
					関係各課						
1503	6 重-4		有害情報からの子どもの保護 有害情報から子どもを保護するための方策やシステムを検討する。	新規	教育指導課	調査検討	有害情報に関する指導内容や指導方法等について先行実施している取組・実践を調査研究し、本市における実施に向けて方向性を検討した。	調査検討	引き続き、有害情報に関する指導内容や指導方法等について先行実施している取組・実践を調査研究し、本市における実施に向けて方向性を検討した。	実施	各校で、セーフティ教室や総合的な学習の時間等において、情報教育の一環として、有害情報に関する指導を実施した。東京都教育委員会が実施している「学校非公式サイト等の監視」結果を各校に送付し具体的な地頭として活用した。
0703	6 重-4				児童青少年課	継続	東京都が作成している「ファミリールール講座」のリーフレットを窓口に置き啓発した。	継続	東京都が作成している「ファミリールール講座」のリーフレットを窓口に置き啓発した。	継続	東京都が作成している「ファミリールール講座」のリーフレットを窓口に置き啓発した。児童館利用の児童との会話の内容により適宜eルールの話をした。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2-1 心身の自立

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0701	1重-6	青少年支援事業の実施の検討 「ニート」や「ひきこもり」等の青少年の抱える問題について担当する部署を充実し、各関係機関・庁内関係部署との情報交換や連携を強めて、青少年の育ちを見守る環境を整備する。 青少年の就労意識の向上のための施策を実施する。	継続	子育て支援課	継続		子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討
1999				関係各課							
0605	2	タバコ・薬物・性感染症に対する正しい知識普及・啓発 青少年に広がる薬物乱用や、性感染症に対する正しい理解を深めるため、母子保健や学校教育等との役割分担を明確化し、連携を図る。	継続	健康課	充実		市報・ホームページの他、青少年など若年層が活用する携帯モバイルで周知ほか、21年度までの取組を継続した。 さらに、性感染症についての健康教育を、中学校の依頼により多摩小平保健所と一緒に実施した。中学校1校の3年生女子100人	充実	市報・ホームページ・携帯モバイルなどによる周知を継続実施した。 さらに、教育委員会と連携を図り、子宮頸部がんワクチン接種の啓発についての講話を、中学校11校、1732人に実施。依頼により性感染症についての健康教育を、中学校1校女子36人に実施した。	継続	市報・ホームページ・携帯モバイルなどによる周知の継続実施する。 ・子宮頸部がんワクチン接種の啓発についての情報提供は市内公立中学校において継続して実施した。
1503				教育指導課	継続		・セーフティ教室や安全教室等の主題として取り上げて実施した。セーフティ教室を実施しない場合は、薬物乱用防止教室として特設して指導を実施した。	継続	・セーフティ教室や安全教室等の主題として取り上げて実施した。セーフティ教室で実施しない場合は、薬物乱用防止教室として特設して指導を実施した。	継続	・小学校体育科の保健領域や中学校保健体育科の保健分野において指導を実施した。また、セーフティ教室や安全教室等の主題として取り上げて実施した。セーフティ教室で実施しない場合は、薬物乱用防止教室として特設して指導を実施した。
0702	3	乳幼児とふれ合う場づくりの推進 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。 保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。 小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。 (再掲) 3-2-2-(2)、4-1-1	継続	保育課	継続		保育園における中高生のボランティアを受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。	実施	小学生は職場体験、中高生についてはボランティアを受け入れた。 ・中学校からの依頼 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込み。	実施	小学生、中学生の職場体験、高校生のボランティアを受け入れた。
1503				教育指導課	実施		・各中学校の実態に応じ、職場体験で、保育園等におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施する予定。また、小学校において、命の教育の一環として体験活動を行う。
0701				子育て支援課	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	
0701	4重-6	入所型施設退所後の支援の検討 児童養護施設等、入所型施設での暮らしから、地域生活に移行していく青少年の支援を検討する。	新規	子育て支援課	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討
0701	5重-7	青少年の日の設定 市民全体が青少年を意識する日として「青少年の日」を設定し、青少年が中心となって企画運営するイベント等を実施する。	新規	子育て支援課	実施		市民全体があらためて青少年を意識する日として「青少年の日イベント」を実施した。	実施	児童青少年課において「青少年年間事業」として実施	実施	児童青少年課において「青少年年間事業」を実施
1999				関係各課							
0701	6重-7	青少年のしゃべる場の設定 青少年が自分の感じていることや考えを表現する場としての「青少年のしゃべる場」を設定し、青少年の参加を得て運営する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
0701	7重-7	見守り、支援する側の連携の強化 街ぐるみで青少年の育ちを見守り、支援していくために、家庭、学校、地域、行政が連携を強化するしくみづくりを具体的に検討する。	新規	子育て支援課	実施		青少年問題協議会において関係機関の情報交換を行った	実施	青少年問題協議会において関係機関の情報交換を行った	実施	青少年問題協議会において関係機関の情報交換を行った
1999				関係各課							

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2-2 経済的自立

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
1503	1	学校の総合的な学習の時間等を活用した学習の推進 小中学校の総合学習の時間等を活用し、地域において社会経済活動への関わりなどを学んでいく活動を推進する。	継続	教育指導課	実施	・中学校において全校で職場体験を実施した。	継続	・中学校全校において3日間の職場体験を実施した。	実施	・小学校の道徳の時間等における生き方に関する教育や中学校全校における3日間の職場体験活動など、キャリア教育の充実を図った。
0402	2	インターンシップ制度の導入の検討 市内の農・商工業者の協力を得て、高校・大学生が就職前に就労体験できる制度の導入を検討する。	新規	産業振興課	実施	昭和女子大学生8月16日より10日間1名インターンシップ実施	未実施	なし	未実施	市の取組ではないが、都立田無工業高校で平成24年度からデュアルシステム(長期職業訓練)が導入され、高校の授業として企業で長期間、就業訓練を行う職業教育が実施されている。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2-3親役割を理解する

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0704	1重-8	若い親世代への支援の検討 不安を抱えることの多い若年層の親たちが気軽に集い、意見交換し合えるような機会づくりをすすめる。またグループの自主的な活動を支援するしきみを整備する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	3歳までの乳幼児とその保護者が集う子育て広場で、保護者同士が気軽に話し合い、子育てに関する情報交換ができる場を提供した。	継続	3歳までの乳幼児とその保護者が集う2箇所の子育て広場で、保護者同士が気軽に話し合い、子育てに関する情報交換ができる場を提供した。	継続	3歳までの乳幼児とその保護者が集う2箇所の子育て広場で、保護者同士が気軽に話し合い、子育てに関する情報交換ができる場を提供した。	
				子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討	
				健康課	継続	・若年ママグループ教室 12回開催 受講者延べ人数大人 87人 受講者延べ人数子供 96人 ・若年ママグループ卒業生による自主グループ立ち上げ・運営に関わるバックアップ	継続	・若年ママグループ教室 12回開催 受講者延べ人数大人 104人 受講者延べ人数子供 118人 ・若年ママグループ卒業生による自主グループ立ち上げ・運営に関わるバックアップ	継続	・若年ママグループ教室の継続 ・若年ママグループ卒業生による自主グループの運営等に関わるバックアップ	
0702	2	中学生のためのボランティア事業の推進 中学生が乳幼児とふれあえるように、保育園などでのボランティア事業を推進する。	継続	保育課	継続	保育園における中高生のボランティア、職場体験活動を受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。	継続	保育園における中高生のボランティア、職場体験活動を受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込	実施	小学生、中学生の職場体験、高校生のボランティアを受け入れた。	
				社会福祉協議会	実施	夏！体験ボランティア西東京2010を実施し、中学生にボランティア体験先として保育園をはじめとする福祉施設や地域活動団体を紹介した。 (小学生～社会人 101名参加)	実施	夏！体験ボランティア西東京2011を実施し、中学生にボランティア体験先として保育園をはじめとする福祉施設や地域活動団体を紹介した。 (小学生～社会人 141名参加)	実施	夏！体験ボランティア西東京2012を実施し、中学生にボランティア体験先として保育園をはじめとする福祉施設や地域活動団体を紹介した。 (小学生～社会人 156名参加)	
2002	3	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進 子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。 (再掲) 2-5、3-2-1	継続	社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	
				子育て支援課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究	
0703	4	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実 インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。 (再掲) 2-5、3-2-1	継続	児童青少年課	継続	本年度、武蔵野大学からのインターンシップ受け入れを行った。また、都内の学校から実習生の受け入れ及び中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップ受け入れ依頼がなかったが、中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップの受け入れた。	
				保育課	継続	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	
0701	5	小中学校での性教育の充実 子どもたちの年齢に応じた性教育が行えるよう市として取り組み、小・中・高校が連携し、性教育プログラムの構築とその推進を図る。また、家庭との連携がとれるように配慮していく。	継続	子育て支援課	検討	調査研究	検討	調査研究	検討	調査研究	
				教育指導課	検討	・学習指導要領の改訂を踏まえ、充実について検討。	検討	・学習指導要領の改訂を踏まえ充実について検討した。	実施	・小学校体育科の保健領域や中学校体育科の保健分野、総合的な学習の時間等において、各校の計画に従って適正に実施した。	
0704	6	性の尊重に向けた支援事業の検討 生き方の教育や生命尊重の教育等への取り組みを通して、性の尊重への正しい知識の醸成が図られているが、同時に現在の社会状況の中で、特に高校生の望まない妊娠の問題の解決が重要となっている。性の尊重と妊娠のしきみを学ぶ機会を増やし、啓発、相談事業を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	実施	おおむね18歳までのお子さん自身からのさまざまな相談に応じている。要望があれば、専門機関を紹介している。	実施	おおむね18歳までのお子さん自身からのさまざまな相談に応じている。要望があれば、専門機関を紹介している。	継続	おおむね18歳までのお子さん自身からのさまざまな相談に応じている。要望があれば、専門機関を紹介している。	
				子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討	
				健康課	①継続 ②実施	①若年ママグループ教室で実施及び個別相談の場を継続 ②中学校からの依頼を受けて、性感染症の予防、子宮頸部がん予防接種について保健所と一緒に健康教育を実施した。受講者 中学校1校の女子生徒100人	①継続 ②実施	①若年ママグループ教室で実施及び個別相談の場を継続 ②中学校からの依頼を受けて、性感染症の予防、子宮頸部がん予防接種について保健所と一緒に健康教育を実施した。受講者 中学校1校の女子生徒100人	継続	①若年ママグループ教室で実施及び個別相談の場を継続 ②子宮頸部がん予防接種について市内各中学校1年生女子生徒を中心に周知を実施。 ③生命の尊重等についての学校での健康教育については、学校として実施中との教育委員会の回答あり、当課では未実施となった。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2-4 他者を援助する力

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0701		ボランティア活動の機会の充実		子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行を通じて子育てサークルを紹介した	実施	子育てハンドブックの発行を通じて子育てサークルを紹介した	継続	子育てハンドブックの発行
2002	1	子育てサークルの活動や子育てに関連するボランティア活動の情報を提供し、地域住民が活動に入りやすいように支援する。各種のイベントやボランティア活動等への自主的参加を促進する取り組みを実施していく。	継続	社会福祉協議会	実施	夏！体験ボランティア西東京2010を実施し、小学生、中学生、高校生、大学生がボランティア活動に参加する機会を提供した。 (全参加者101名) ボランティアのつどい実行委員会に大学生に実行委員として参加してもらい、イベントの企画・運営に携わってもらい、ボランティア活動を広めるための企画をすすめてもらった。 西東京ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア登録制を採り、日常的にボランティア活動を紹介している。	実施	夏！体験ボランティア西東京2011を実施し、小学生、中学生、高校生、大学生がボランティア活動に参加する機会を提供した。 (全参加者141名) ボランティアのつどい実行委員会に大学生に実行委員として参加してもらい、イベントの企画・運営に携わってもらい、ボランティア活動を広めるための企画をすすめてもらった。 西東京ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア登録制を採り、日常的にボランティア活動を紹介している。	継続	夏！体験ボランティア西東京2012を実施し、小学生、中学生、高校生、大学生がボランティア活動に参加する機会を提供した。 (全参加者156名) ボランティアのつどい実行委員会に大学生に実行委員として参加してもらい、イベントの企画・運営に携わってもらい、ボランティア活動を広めるための企画をすすめてもらった。 西東京ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア登録制を採り、日常的にボランティア活動を紹介している。
2002	2	ボランティア保険等の加入の促進 子育てサークルや各種のボランティア活動を安心して行えるよう、ボランティア保険等への加入を促進する。	継続	社会福祉協議会	実施	広報紙、ホームページ、メールニュースを活用してボランティア保険加入を働きかけている。	実施	広報紙、ホームページ、メールニュースを活用してボランティア保険加入を働きかけている。 (加入者数:4,021人)	継続	広報紙、ホームページ、メールニュースを活用してボランティア保険加入を働きかけている。 (加入者数:3,786人)
0701				子育て支援課	検討	検討	検討	検討	検討	検討
0703	3	コミュニケーション力育成プログラムの検討 児童館や公民館等で、子どもたちのコミュニケーション力を高めるようなイベントや講座等の企画・運営を子ども参加で推進する。	新規	児童青少年課	継続	公募により応募があった中学・高校生年代による企画プロジェクトを引き続き実施	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京などへ継続的に支援した。 また、高校生以上が参加できるプレイリーダー養成講座の中でコミュニケーション力育成プログラムを実施した。	継続	ミュージック・パーティ・イン西東京は。実行委員会が発足せず未実施。 児童館行事において児童による企画づくりの場を作った。 高校生以上が参加できるプレイリーダー養成講座の中でコミュニケーション力育成プログラムを実施した。
1603				公民館			実施	主催講座実施 「演劇でコミュニケーション！」(12回)	実施	主催講座実施 「伝える力を磨く プレゼンテーション講座」(11回)

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

2 おとなになることを支える

2-5 地域への参加

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組織改 正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0703	1	特化型児童館での地域若者交流事業の検討 青少年センター機能を付加した特化型児童館で、地域の青少年の出会いや交流の場づくりの企画・運営を子ども参加で推進する。	継続	児童青少年課	検討	建替後の下保谷児童センター及びひばりが丘児童センターは中高生年代の居場所づくりを子ども参加で検討した。	実施	中高生年代で構成される実行委員会を立ち上げ、イベントの企画・運営等を担ってもらった。	継続	下保谷児童センターでは、利用者で構成をするteam-shimohouyaを立ち上げ1/月回程度の会議を開き児童館ウエイに運営に活かし、ひばりが丘児童センターは、特に会を立ち上げてはいるが利用者の意見を聞く場を設け児童館運営に反映してきた	
2002	2	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進(再掲) 子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。	継続	社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して、武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行った。(街中サロンにここを実施) 夏！体験ボランティア西東京2010を実施(小学生～社会人 101人参加)	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。 夏！体験ボランティア西東京2012を実施(小学生～社会人 156人参加)	
0701		2-3(再掲) 3-2-1		子育て支援課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究	
0703	3	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実(再掲) インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。	継続	児童青少年課	継続	本年度、武蔵野大学からのインターンシップ受け入れを行った。また、都内の学校から実習生の受け入れ及び中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップ受け入れ依頼がなかったが、中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップの受け入れた。	
0702		2-3-(再掲) 3-2-1		保育課	継続	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	
0403	4	地域行事等の活発化による子ども参加の推進 市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、さらには地域でのまつり、青少年育成会が主催するイベントなどを活性化し、子どもたちが地域と関わり、参加できる機会を増やす。	継続	文化振興課	実施	・市民まつり: 都立保谷高校のボランティア参加、田無第二中学校、谷戸小学校、谷戸第二小学校、保谷第一小学校の生徒のステージ出演、保谷小学校鼓笛隊、文化女子中学・高等学校バトン部のバレード出演ほか、多数の子ども参加あり。 ・市民文化祭: 碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加ほか各部において多数の子ども参加あり。 ・どんど焼: 明保中、保二小、上向台小で実施し、多数子ども参加あり。	実施	・市民まつり: 都立保谷高校のボランティア参加、田無第二中学校、谷戸小学校、谷戸第二小学校、保谷第一小学校の生徒のステージ出演、保谷小学校鼓笛隊、文化女子中学・高等学校バトン部のバレード出演ほか、多数の子ども参加あり。 ・市民文化祭: 碧山小学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加ほか各部において多数の子ども参加あり。 ・どんど焼: 明保中、保二小、上向台小で実施し、多数子ども参加あり。	実施	・市民まつり: 都立保谷高校のボランティア参加、田無第二中学校、谷戸小学校、谷戸第二小学校、保谷第一小学校の生徒のステージ出演、保谷小学校鼓笛隊、文化女子中学・高等学校バトン部のバレード出演ほか、多数の子ども参加あり。 ・市民文化祭: 碧山小学校、ひばりが丘中学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、箏曲子供向けワークショップ実施、総合プログラムを小中学校の児童・生徒へ配布。来場者約15,800人。 ・どんど焼: 明保中学校、保谷第二小学校、上向台小学校で実施。参加者約4,070人。 ・平成24年3月に策定した「西東京市文化芸術振興計画」に基づき、子供向けのオーケストラ体験ワークショップを実施し、その受講生出演による西東京市文化芸術振興シンフォニーコンサートを開催した。	
1601				社会教育課	実施	・12団体に学校施設を活用した地域生涯学習事業を委託し、子ども向けの様々なメニューを用意し、子どもたちの自由な選択性・自主性が培う事業を展開した。	実施	・12団体に学校施設を活用した地域生涯学習事業を委託し、子ども向けの様々なメニューを用意し、子どもたちの自由な選択性・自主性が培う事業を展開した。	実施	①12団体に学校施設を活用した地域生涯学習事業を委託し、子ども向けの様々なメニューを用意し、子どもたちの自由な選択性・自主性が培う事業を展開した。 ②縄文の森の秋まつり、民具展示などの地域の文化財を活用した行事に子供向けのメニューを用意し参加を促すとともに、学習発表の場、ボランティアスタッフとしての参加の場を提供した。	
0703				児童青少年課	継続	・育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。 ・各育成会において事業展開を支援した。	継続	育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。 各育成会において事業展開を支援した。 市民まつりの児童館ブースにプレイリーダー養成講座参加者の高校生の協力があった。	継続	育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加した。 各育成会において子どもたちが地域と関わる事業の展開を支援した。 市民まつりの児童館ブースにてプレイリーダー養成講座参加者の高校生の協力があった。	
1602				スポーツ振興課	継続	体育の日に市民スポーツまつりを実施。	継続	体育の日に市民スポーツまつりを実施。	継続	体育の日に市民スポーツまつりを実施。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0605	1重-8	栄養・食生活に関する教育・相談の実施 両親学級・乳幼児健診・離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施し、家庭の食生活での食育の取り組みを推進する。	継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間（マタニティークッキング含む）18回開催 延べ参加者数 1,217人 育児相談 12回開催 992人 子育て講座（歯科編）24回開催 126組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ほっとサロン 11回開催 56組参加 離乳食講習会 12回開催 227人参加 ぱくぱく相談 23回開催 延べ211人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間（マタニティークッキング含む）18回開催 延べ参加者数 1,175人 育児相談 12回開催 988人 子育て講座（歯科編・栄養編）24回開催 113組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ほっとサロン 12回開催 113組参加 離乳食講習会 12回開催 228人参加 ぱくぱく相談 24回開催 延べ177人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組 	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター（保育園）との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。
				保育課	継続	ファミリー学級・乳幼児健診・育児クラス、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。	実施	ファミリー学級・乳幼児健診・育児クラス、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。離乳食講習会はHPで開催の情報提供をした。	実施	ファミリー学級・乳幼児健診・育児相談・離乳食講習会などで栄養・食生活に関する相談や教育を実施した。
0402	2重-10	地域や家庭における食育の推進 農業マップの作成や農産物の販売、農業景観散策での地域農家と市民の交流事業等を、西東京市食育推進計画に基づき総合的に推進する。また、学校での地場野菜の活用を通じて、食の安全や農業について関心を深める。	継続	産業振興課	実施	平成22年10月23日に実施。16名の市民が参加し市内（旧保谷地区）を散策し、2件の農家を訪問。	実施	平成23年10月22日に「農業景観散策会」を実施。田無駅南部地域を中心に、市民17名が参加し、農家2箇所の圃場での交流事業を行った。	実施	「農業わくわく散策会」を実施。「花摘みの丘」「農のアカデミー体験実習農園」を活用し、市民15名が参加。
学校運営課				継続	地場野菜を給食で使用し、生産者が野菜について学校で話したり、児童がとうもろこしなどの皮むきを行い、食についての知識を深めた。	継続	地場野菜を給食で使用し、生産者が野菜について学校で話したり、児童がとうもろこしなどの皮むきを行い、食についての知識を深めた。	継続	地場野菜を給食で使用し、生産者が野菜について学校で話したり、児童がとうもろこしなどの皮むきや、そら豆のさや出しを体験し、食への関心・知識を深めた。児童・保護者を対象に親子料理教室などを実施した。	
健康課				充実	市誕生10周年として、朝食メニューコンクールを実施。応募結果（一般部門69作品、学生部門37作品）入選作品を掲載したカレンダー、レシピ集を作成し配布した。保育園や小学校の給食、食育講座で入賞作品を活用した。	充実	庁内12課による「西東京市食育推進会議」を設置し、「健康都市推進委員会作業部会」と併せて進行管理・評価改善する仕組みづくりを行った。また、関係団体と食育ネットワークの構築を目指し、準備委員会を開催した。	充実	25年度に向けて「第2次健康づくり推進プラン」を策定した。策定に伴い、総合的な評価を行った。食育ネットワークの構築について検討した。食育に関するアンケートを市内3小学校に実施する。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度		
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0605	3 重-8	子育てに関する学習機会の充実 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 (再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)、4-2-1	継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,217人 育児相談 12回開催 992人 子育て講座(歯科編) 24回開催 126組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ほっとサロン 11回開催 56組参加 離乳食講習会 12回開催 227人参加 ばくばく相談 23回開催 延べ211人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 16回開催 延べ参加者数 1,175人 育児相談 12回開催 988人 子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ほっとサロン 12回開催 113組参加 離乳食講習会 12回開催 228人参加 ばくばく相談 24回開催 延べ177人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、夫婦で参加しやすい環境を整え、家庭として子育てのイメージを持ってもらいながら準備ができるよう支援していく。また、その他の事業も引き続き妊産婦や乳幼児の健康増進のための知識の普及等を行っていく。 	
				公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ若い女性を対象にした講座の実施 7講座 総計92回 延べ1,156人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」7回 親子36組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 6講座 総計96回 延べ1,236人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」14回 親子105組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 保育付のサークル22団体の活動の支援 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	
				子育て支援課	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討
				子ども家庭支援センター	継続	西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> のどか広場、ピッコロ広場において、健康についてのミニ講座を2回実施した。 西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 	充実	<ul style="list-style-type: none"> 西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 2箇所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。 	
				0704	0704	父親の育児参加の推進 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 (再掲)3-2-2-(1)、4-1-1	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> 広場で父親参加の交流事業を14回実施し、延368人が参加した。 	継続
0404	4	父親の育児参加の推進 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 (再掲)3-2-2-(1)、4-1-1	継続	協働コミュニティ課	実施	平成22年6月23日～7月4日の期間「男女共同参画週間」に「パパの極意」として男女が協力して子育て等家庭生活を支える意識が持てるようパパ向けに全3回講座を開催した。①「仕事も子育ても楽しむ極意(ワーク・ライフ・バランスの啓発)②絵本歌・遊び歌ライブ③初心者のための基礎から学ぶパパごはん教室」を開催し地域で育児の悩み等を共有できる仲間づくり(パパ友づくり)を促進。またチラシ、ポスターを市内企業に配布。参加者延べ192名、保育23名	実施	夏休み企画「パパの出番ですよ」とだいて、①「紙のからくりを作ろう」を平成23年8月7日(日)②「パンとダイナミックに遊ぼう」を平成23年8月21日(日)に実施し、育児介護休業法改正1年を経過したことに伴い、啓発冊子を作成し配付した。冊子の内容は育児介護休業法の解説と取得時の賃金や社会保障、平成22年度で行った講演会での既に育児休業を取得した市民の生の声を掲載して啓発に努めた。また同事業開催のチラシとポスターを市内企業に配付した。	実施	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画週間」のイベントとして、男性の育児参加を促すワーク・ライフ・バランスの講演会を平成24年7月7日(土)に開催。参加者28名 また、男女平等推進センター バリテの登録団体「西東京市ババクラブ」が企画した、家庭・地域・育児を楽しむババスクール全6回(毎土曜日)の講座が、NPO等企画提案事業の新規チャレンジ部門で採択され、実施した。 	
1603	公民館			継続 試行	<ul style="list-style-type: none"> 土日 5講座 祝日 2講座 	継続 試行	<ul style="list-style-type: none"> 土日 10講座 祝日 2講座 	継続 試行	<ul style="list-style-type: none"> 親子いろいろ体験講座「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。 		
	健康課			継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加人数1,217人	継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加者数 1,175人	継続	ファミリー学級 16回開催(2日目土曜日開催)にて、「先輩パパの話」を継続実施している		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0404	5	子育て意識の啓発の推進 第2次男女平等参画推進計画の中の「父親の育児休業の取得に向けた啓発」等の徹底と連携しながら、子育ての責任を果たせるよう支援する事業の展開を図るとともに、親の気持ちや意見を子どもたちに届ける場、機会づくりをすすめる。	継続	協働コミュニティ課	実施	平成22年6月に施行された「育児介護休業法」の改正ポイントを年2回発行の西東京市男女平等情報誌パリティに掲載し育児休業の取得に向けて啓発し、市内企業、市内施設等に配布。	実施	夏休み企画「パパの出番ですよ」とだいて、①「紙のからくりを作ろう」を平成23年8月7日(日)②「パパとダイナミックに遊ぼう」を平成23年8月21日(日)に実施し、育児介護休業法改正1年を経過したことに伴い、啓発冊子を作成し配付した。冊子の内容は育児介護休業法の解説と取得時の賃金や社会保障、平成22年度で行った講演会での既に育児休業を取得した市民の生の声を掲載して啓発に努めた。また同事業開催のチラシとポスターを市内企業に配付した。	実施	西東京市男女平等情報誌「パリティ」で、特集「家庭のこと、仕事のこと、未来のこと。～夕方7時に家族みんなで夕食を囲む方法～」や、男の料理指南などを掲載し、市内企業にチラシを配布するなど、子育て意識の啓発を行った。また、講演会参加者へ育児休業制度関係の特集を組んだ情報誌パリティ5号を配布した。
1603				公民館	継続 試行	・土日 5講座 ・祝日 2講座	継続 試行	・土日 10講座 ・祝日 2講座	継続 試行	・「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。 ・土日 24講座 ・夜間 1講座
0701				子育て支援課	検討	検討	検討	検討	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	実施	2ヶ所の子育て広場において、父親支援事業を行い、父親が来所しやすい場の提供をするとともに、専門スタッフのさりげない働きかけの中で、子育て、育児参加の意識の啓発を行った。	実施	2ヶ所の子育て広場において、父親支援事業を行い、父親が来所しやすい場の提供をするとともに、専門スタッフのさりげない働きかけの中で、子育て、育児参加の意識の啓発を行った。	継続	2箇所の子育て広場において、父親支援事業を行い、父親が来所しやすい場の提供をするとともに、専門スタッフのさりげない働きかけの中で、子育て、育児参加の意識の啓発を行った。
0402	6	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進 家庭での子育ての重要性を認識し、家族と一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。(再掲)4-1-1	継続	産業振興課	未実施	なし	継続	所管部署からの依頼に応じ、商工会を通じ、商工会会員にパンフレットを配布することは可能。	継続	平成24年7月1日から改正育児・介護休業法が全面施行され、そのパンフレットを商工会に配布した。
0703	7	地域の子育て意識の醸成 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるという意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。(再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	・青少年健全育成諸活動を行う各種団体への後方支援を行った。 ・育成会全体事業「歩け歩け会」、各育成会においての事業展開を支援した。	継続	青少年育成会等が実施する地域の人々(小・中学校、PTA、地域サークル、児童館等)が連携する事業を支援した。	継続	地域の関係機関や市民団体等が関わりながら実施する青少年育成会等の事業を支援した。
0701				子育て支援課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-1 子育ての支え合い意識

22.4月組 繰改正			22年度			23年度			24年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0704	1	ファミリー・サポート・センター事業の充実 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携して、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようにするための広報を実施する。 (再掲)4-1-1	継続	子ども家庭支援センター	継続	・サポート会員の声を拾うため、サポート会員連絡会の回数を平成21年1回から平成22年3回に増やした。 ・サポート会員のステップアップ講座をサポート会員のメンタルケアについて行った。	継続	会員交流会と同時開催された社会福祉協議会のふれあいまつりにブースを設置し、パンフレット・資料等を配布。会員交流会では、参加者の市民へ向けて、ファミリー・サポート・センター事業のインフォメーションをするなどして広報を行った。	継続	・ファミリー・サポート・センター事務局との連絡会議を実施し、相互理解を図った。 ・サポート会員ステップアップ研修で障がいのある子どもについて学び、18人が出席した。 ・会員交流会を2回実施し、56人が出席した。	
			実施	社会福祉協議会	実施	市から委託を受け実施 ・ホームページの整備(必用書類をダウンロード可能にした) ・ステップアップ講習会(サポート会員のメンタルケア) ・会員のしおりの英語版を作成 ・1歳未満児の預かりの集計 ・サポート会員連絡会を3回実施 ・会員交流会として風の子劇団 ・養成講習会の講座数を5講座に変更し、受講者増につなげた ・養成講習会の講座に、「子どもの遊び」を復帰 ・顔合わせ用紙の簡素化	実施	市からの委託を受け実施 ・ステップアップ講習会(いろいろなファミリー会員との関わり方)を開催 ・社会福祉協議会ふれあいまつりにて、ファミリー・サポート・センター10周年記念会員交流会を同時開催し、会員、一般市民を対象に人形劇団ボロによる『あかずきん』を上演 ・市と協議し、緊急災害マニュアル作成。更新時に全会員に郵送 ・病児・病後児については、市と協議の結果、実施しないこととなる	実施	市からの委託を受けて実施 ・ステップアップ講習会「障がい児の預かりについて」特別支援学校教諭による講習会を実施 ・養成講習会「子どもを安全に預かるために」の講座を3時間に延長し、実施 ・会員交流会を市内2か所(保谷地区・田無地区)で、ヨガ体験教室を実施 ・長時間の子どもの預かりについて、年齢(月齢)に応じた目安を設定	
2002	2	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進(再掲) 子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する。高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。 2-3、(再掲)2-5	継続	社会福祉協議会	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した。	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した	
0701				子育て支援課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究	
0703	3	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実(再掲) インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関する職業体験を充実する。 2-3、(再掲)2-5	継続	児童青少年課	継続	本年度、武蔵野大学からのインターンシップ受け入れを行った。また、都内の学校から実習生の受け入れ及び中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップ受け入れ依頼がなかったが、中学生の職場体験を受け入れた。	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップの受け入れた。	
0702				保育課	継続	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	インターンシップ制度ではないが武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	実施	武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。	
0404	4	子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実(再掲) 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。 子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。	継続	協働コミュニティ課	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを活用した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを運営する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。	
0702			1-2-1	保育課	継続	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。	
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・妊婦や父親支援事業を16回行い、延370人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸し出しを行い、延267グループが利用し、活動した。	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延276人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸し出しを行い、延345グループが利用し、活動した。	継続	・2箇所の子育て広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延456人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸し出しを行い、延398グループが利用し、活動した。	
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。	継続・充実	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。 市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育て世代への支援を行った。	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施する。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。 市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育て世代への支援を行った。	
2002			実施	社会福祉協議会	実施	社協地域活動拠点において、学生主体の子育てグループを支援した。 社協地域活動拠点モデル事業「わくわくサロンのおはなし会」を開催した。(3回) 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育てグループに助成金を交付した。(4団体) 子育てサロン開設講座を実施した。(1回) 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 イベント情報の広報協力(掲示板、後援名義使用の支援) 武蔵野大学生との座談会実施「子育てネットワークづくり」 コラボイベント開催の支援	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育てグループに助成金を交付した。(4団体) 子育てサロン開設講座修了者の支援を実施した。 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 子育てフェスタに協力した。	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育て(支援)グループに助成金を交付した。(6団体) 子育てサロン開設講座を実施した。 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 子育てフェスタに協力した。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機

所管課番号		番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 組織改正	22年度	23年度	24年度	
所管課番号		番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	実績	実績	
						具体的な 取り組み内容	具体的な 取り組み内容	具体的な 取り組み内容	
0703	1重-3		プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実させる。	継続	児童青少年課	継続 今年度、民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼びかけた	継続 民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続 民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。	
		1601	1-2-1、(再掲)1-2-2、4-4		社会教育課	検討 ・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレイリーダーの活用の機会について児童青少年課と協議した。	検討 ・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。	検討 ・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。	
0605	2		子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。	継続	健康課	継続 ・ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,217人 ・育児相談 12回開催 992人 ・子育て講座(歯科編) 24回開催 126組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ・ほっとサロン 11回開催 56組参加 ・離乳食講習会 12回開催 227人参加 ・ばくばく相談 23回開催 延べ211人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組	継続 ・ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 16回開催 延べ参加者数 1,175人 ・育児相談 12回開催 988人 ・子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ・ほっとサロン 12回開催 113組参加 ・離乳食講習会 12回開催 228人参加 ・ばくばく相談 24回開催 延べ177人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組	継続 ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター(保育園)との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。	
		1603	3-1、(再掲)3-2-2-(2)、4-2-1		公民館	継続 ・保育付講座の実施 乳幼児を持つ若い女性を対象にした講座の実施 7講座 総計92回 延べ1,156人 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」7回 親子36組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施	継続 ・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 6講座 総計96回 延べ1,236人 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」14回 親子105組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施	継続 ・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 ・保育付のサークル22団体の活動の支援 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施	
		0701		子育て支援課	検討	検討	検討	検討	検討
		0704		子ども家庭支援センター	継続	西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	継続 ・のどか広場、ピッコロ広場において、健康についてミニ講座を2回実施した。 ・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	充実 ・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 ・2箇所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。	
0701	3	幼稚園、保育園における子育てに関する学習の機会の検討	新規	子育て支援課	検討	検討	検討	検討	
0702		幼稚園・保育園での父母会とともに、これから子どもを持つ人に子どもの育ちを体験してもらうため、幼稚園・保育園での実際の子どもたちとのふれあいを中心とした父母教室の開催を、母子保健と連携して推進する。	新規	保育課	新規 子育て広場事業で実施している「赤ちゃんのつどい」、「離乳食講習会」に積極的に参加してもらった。各センターで年4回程度開催	継続 子育て広場事業で年4回実施した「赤ちゃんのつどい」、「離乳食講習会」に参加してもらった。健康課主催のファミリー学級に参加し、センターのPRを実施した。	実施 子育て広場事業で実施している「赤ちゃんのつどい」、「離乳食講習会」に積極的に参加してもらった。各センターで年4回開催		
0605			健康課	実施 ファミリー学級参加者へ、保育園で実際の子どもたちとのふれあい希望者を保育課が募っている	検討 これから子どもを持つ人を対象とする、妊娠前夫婦や男女への事業は未実施の状況にある。	検討 未実施。思春期については学校との連携も欠かせないため、教育委員会に提案したが、本年度も連携を持つことができなかった。			

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機

所管課番号		番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22年度		23年度		24年度	
22.4月組	実績					具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0704	4	1-1-2	家庭教育支援事業の推進（再掲） 親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・基幹型保育園と連携し子育て講座や子育て情報の提供を行った。 ・妊婦や父親が広場に集うきっかけとなるようプレパパママ事業2回、父親支援事業14回を実施した。	継続	・基幹型保育園と連携し子育て情報の提供を行った。 ・父親が広場に集うきっかけとなるよう父親支援事業を12回を実施した。	継続	・基幹型保育園と連携し、子育て情報の提供を行った。 ・子育て広場で父親に対する支援事業を12回実施した。
0702					保育課	継続	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を通して地域の子育て家庭の支援を行った。	実施	新たに基幹型保育園が建替えにより子育て広場を開設したため、更に、グループ交流、子育て講座の場が拡大し、地域の子育て家庭の支援の輪が広がった。	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参加があった。
0703					児童青少年課	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。
0605					健康課	継続	・ファミリー学級 1コース2日間（マタニティークッキング含む） 18回開催 延べ参加者数 1,217人 ・育児相談 12回開催 992人 ・子育て講座（歯科編） 24回開催 126組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ・ほっとサロン 11回開催 56組参加 ・離乳食講習会 12回開催 227人参加 ・ぱくぱく相談 23回開催 延べ211人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組	継続	・ファミリー学級 1コース2日間（マタニティークッキング含む） 18回開催 延べ参加者数 1,175人 ・育児相談 12回開催 988人 ・子育て講座（歯科編・栄養編） 24回開催 113組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ・ほっとサロン 12回開催 113組参加 ・離乳食講習会 12回開催 228人参加 ・ぱくぱく相談 24回開催 延べ177人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組	継続	ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、父親の参加しやすい環境で実施した。 こんにちは赤ちゃん事業(訪問)、その他の事業や機会を通して、家庭や育児について具体的にイメージを持てるように努めた。
1603					公民館	継続	親子が触れ合う機会を提供する講座を9事業延べ13回実施した。「お父さんと手打ちうどんに挑戦しよう!」「パパ・ママ・子どものふれあいライブ」では、合計27人の父親の参加を得られた。	継続	親子が触れ合う機会を提供する講座14講座を延べ26回実施した。「お父さんと肉まんを作ろう」を実施し、父と子16人が参加した。	継続	・子育てに関する講座を6講座、延べ90回、親子がふれあう機会を提供する講座11講座を延べ22回実施した。 ・保育付のサークル22団体の活動を支援した。 「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。
0704	5	3-1、(再掲)4-1-1	父親の育児参加の推進(再掲) 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育てで休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・広場で父親参加の交流事業を14回実施し、延368人が参加した。	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延276人が参加した。	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延456人が参加した。
0404					協働コミュニティ課	実施	平成22年6月23日～7月4日の期間「男女共同参画週間」に「パパの極意」として男女が協力して子育て等家庭生活を支える意識が持てるようパパ向けに全3回講座を開催した。①仕事も子育ても楽しむ極意(ワーク・ライフ・バランスの啓発)②絵本歌・遊び歌ライブ③初心者のための基礎から学ぶパパごはん教室を開催し地域で育児の悩み等を共有できる仲間づくり(パパ友づくり)を促進。またチラシ、ポスターを市内企業に配布。参加者延べ192名、保育23名	実施	夏休み企画「パパの出番ですよ」といって、①「紙のからくりを作ろう」を平成23年8月7日(日)②「パパとダイナミックに遊ぼう」を平成23年8月21日(日)に実施し、育児介護休業法改正1年を経過したことに伴い、啓発冊子を作成し配付した。冊子の内容は育児介護休業法の解説と取得時の賃金や社会保障、平成22年度で行った講演会での既に育児休業を取得した市民の生の声を掲載して啓発に努めた。また同事業開催のチラシとポスターを市内企業に配付した。	実施	「男女共同参画週間」のイベントとして、男性の育児参加を促すワーク・ライフ・バランスの講演会を平成24年7月7日(土)に開催。参加者28名 また、男女平等推進センター パリテの登録団体「西東京市ババクラブ」が企画した「家庭・地域・育児を楽しむ父親学級」全6回(毎土曜日)の講座が、NPO等企画提案事業の新規チャレンジ部門で採択され、実施した。
0605					健康課	継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加人数1,217人	継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加者数1,175人	継続	ファミリー学級 16回開催(2日目土曜日開催)にて、「先輩パパの話」を継続実施している
1603					公民館	継続 試行	・土日 5講座 ・祝日 2講座	継続 試行	・土日 10講座 ・祝日 2講座	継続 試行	・親子いろいろ体験講座「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施 父と子18人が参加した。
1604	6	1-2-2	読み聞かせリーダー育成事業の推進(再掲) 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。	継続	図書館	継続 実施	読み聞かせボランティア養成講座(連続3回)を実施した。講座受講者は、各館おはなし会へ参加。	実施	フォローアップ講座(2回)を実施 養成講座受講生の継続的活動支援をおこなった。	実施	フォローアップ講座(2回)を実施 養成講座受講生の継続的活動支援をおこなった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（2）交流

		22.4月組織改正		22年度			23年度			24年度				
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容				
0703	1重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲) 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレリーダーを配置していく。	継続	児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力した行事などを継続的に実施した。 放課後子ども教室は、2/19校で開設され情報共有を行う程度であった。				
1601		1-2-2(再掲)4-4		社会教育課	検討	・児童青少年課との協議	検討	・先進市における放課後子供教室事業の視察や社会教育委員の会議における提言内容を整理し、事業の実施に向けた具体的な検討を行う。	実施	・放課後子供教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。				
0704	2重-11	子ども総合支援センターにおける子育てグループの活動場所の充実と活動の推進 子ども総合支援センター内の活動室について、子育てサークルや子育て関連のボランティアによる利用の実態を把握し、より使いやすい場所になるような工夫を図っていく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	子育てグループ活動室の利用が進み、延267グループが利用し、活動した。	継続	・子育てグループ活動室の利用が進み、延345グループが利用し、活動した。 ・子育てグループ活動室利用団体に対して、子育てハンドブックサークル情報への掲載を促した。	継続	・子育てグループ活動室の利用が進み、延398グループが利用し、活動した。 ・子育てグループ活動室利用団体に対して、子育てハンドブックサークル情報への掲載を促した。				
0702	3	園庭開放の推進 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。 (再掲)4-4	継続	保育課	継続	地域の子育て家庭等と交流を図るため保育園園庭の開放を実施した。	継続	地域の子育て家庭等と交流を図るため保育園園庭の開放を実施した。	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参加があった。				
0605	4	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 (再掲)3-1、3-2-2(1)、4-2-1	継続	健康課	継続	・ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,217人 ・育児相談 12回開催 992人 ・子育て講座(歯科編) 24回開催 126組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ・ほっとサロン 11回開催 56組参加 ・離乳食講習会 12回開催 227人参加 ・ばくばく相談 23回開催 延べ211人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組	継続	・ファミリー学級 1コース2日間 (マタニティークッキング含む) 16回開催 延べ参加者数 1,175人 ・育児相談 12回開催 988人 ・子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 ・1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 ・2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ・ほっとサロン 12回開催 113組参加 ・離乳食講習会 12回開催 228人参加 ・ばくばく相談 24回開催 延べ177人参加 ・若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター(保育園)との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。				
1603						公民館		継続		・保育付講座の実施 乳幼児を持つ若い女性を対象にした講座の実施 7講座 総計92回 延べ1,156人 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」7回 親子36組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施	継続	・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 6講座 総計96回 延べ1,236人 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」14回 親子105組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施	継続	・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 ・保育付のサークル22団体の活動の支援 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701						子育て支援課		検討		検討	検討	検討	検討	
0704						子ども家庭支援センター		継続		西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	継続	・のどか広場、ピッコロ広場において、健康についてのミニ講座を2回実施した。 ・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	充実	・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 ・2箇所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（2）交流

				22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0702	5	乳幼児とふれ合う場づくりの推進(再掲) 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。 保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。 小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。 2-1(再掲)4-1-1	継続	保育課	継続	保育園における中高生のボランティアを受け入れた。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。	実施	小学生は職場体験、中学生についてはボランティアを受け入れた。 ・中学校からの依頼 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込み。	実施	小学生、中学生の職場体験、高校生のボランティアを受け入れた。
1503				教育指導課	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、保育園等におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。
0701				子育て支援課	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討
0704	6	子育てひろば事業の充実 のどかひろば、ピッコロひろば、保育園、児童館で実施している子育てひろば事業を充実し、多様なニーズを抱える利用者により幅広く応えていける広場運営に努める。活動室の貸し出しなどを通じて市民との連携を深める。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・のどか広場利用者は延28,731人、ピッコロ広場利用者は延25,183人だった。(震災により、通常開室日数より合計23日減) ・妊婦や父親支援事業を16回行い、延370人が参加した。	継続	・のどか広場利用者は延28,276人、ピッコロ広場利用者は延25,088人だった。 ・父親支援事業を12回行い、延276人が参加した。	充実	・のどか広場利用者は延27,816人、ピッコロ広場利用者は延29,921人だった。 ・父親支援事業を12回行い、延456人が参加した。 ・子育てグループ活動室について、延398グループが利用した。 ・図書等を活用した事業をのどか広場とピッコロ広場合わせて20回開催した。
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業は引き続き実施した。 また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施した。	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業は引き続き実施した。 実施例: ・乳幼児年齢別サークル支援事業 ・子育て相談事業 ・遊び場の提供(乳幼児ルーム) ・ランチタイムの場の提供 ・授乳室の整備等 ・子育て関係機関との連携事業(保育園・栄養士・保健師等)	継続	子育て支援に係わる事業は引き続き実施する。 市内全児童館で「赤ちゃんふらっと事業」の対応を完了した。 地域住民・サークルや民間業者、子育て関係機関と連携した「こそだてフェスタへ」の協力を行った
0702				保育課	継続	市内保育園において子育て支援に係わる事業を定期的に実施した。 また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施した。	充実	建替えにより、すみよし保育園に5箇所目の子育て広場を開設し、市民の利便性の向上に努めた。	実施	市内保育園において子育て支援に係わる事業を定期的に実施した。 また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育てでの支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	22年度		23年度		24年度	
担当課	番号			実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0704	1重-9	相談に関する情報提供の充実 市報や市のホームページでの情報提供、インターネット活用、子育て施設等での相談に関する情報提供を継続して進めるとともに、青少年も含めた子ども・子育てに関わる情報の一元化を図るよう検討していく。 また、ITネットワークを活用した子育て家庭の相互交流活動の活性化について検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で仲介を行った。	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で仲介を行った。	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で情報提供した。
				健康課	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で仲介を行った。	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で仲介を行った。	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で情報提供した。
				関係各課						
1999										
0604		障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。 早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。 就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。 乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。	継続	障害福祉課	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。
0704	2重-14	子ども家庭支援センター		継続	発達支援係と健康課母子保健担当、保育園・幼稚園等との連携を図りつつ、「ことば」「からだ」「発達全般」と内容により、各専門療育者及び発達支援係職員が対応した。21年度に引き続き、ひよっことの統合に向け、コーディネート機能の充実を図るべく、検討を行った。	実施	職員1名が発達支援コーディネーターとして相談、関係機関との連携業務に専念し、相談・連携の充実が図れた。	実施	発達支援コーディネーターが年間100件以上の相談を受け、関係機関との連携業務では毎月数回の園訪問を行うなど相談・連携の充実が図れた。	
1505		教育支援課		継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級指導学級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。また保護者の希望により保育園や、療育施設と連携して「就学支援シート」の作成を依頼し、就学先の小学校へ送付し継続した支援を円滑に出来るように取組んだ。	
0704	3重-15	育児・子育て相談事業の充実 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談699件、活動延べ数8,959件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布するとともに、子ども向け市ホームページに相談先としてののどかを掲載した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談804件、活動延べ数8,214件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談は649件であった。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年1回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。
0605				健康課	実施	・育児相談事業(12回開催) 来所者 992人 ・こんには赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,555件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件 ・ファミリー学級にて先輩パパ、ママの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16回開催 延べ参加人数 1,217人	実施	・育児相談事業(12回開催) 来所者 988人 ・こんには赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件 ・ファミリー学級にて先輩パパ、ママの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16コース開催 延べ参加人数 1,175人	継続	・ファミリー学級、こんには赤ちゃん訪問、育児相談等の場を通して相談できる体制や情報提供に努めた。 ・ファミリー学級では先輩パパからの話等、夫婦に相談できる体制について周知を図った。
0702				保育課	充実	これまで4カ所であった地域子育て支援センターを1カ所増設し、平成23年5月より一般開放予定。育児・子育て相談や地域の子育て家庭の支援の拡充を図った。	充実	建替えにより、すみよし保育園に5箇所目の子育て広場を開設し、市民の利便性の向上に努めた。	継続	関係する機関(児童館、学童クラブ等)と連携した。 すみよし保育園の年間利用者数 4,460人
0703			児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。地域の子育て経験者(先輩パパママ)による子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施し定着した。	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。また、保育園など子育て関係機関と連携した事業を実施した。小～高校生年代の児童からの相談は、相談室等を活用し応じた。	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。 子育て相談事業のうち児童館が担うべき役割について検討した。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

		22.4月組 織改正	22年度			23年度			24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0704	4	子育て相談担当者の研修事業の充実 保健・福祉・教育等、さまざまな機関における子育て相談担 当者の研修を充実する。	継続	子ども家庭 支援セン ター	実施	相談担当者のスキルアップを図るため、児童福祉司任用資格の取得 を行った。東京都主催の子ども家庭支援センター職員研修を受講し た。	実施	相談担当者のスキルアップを図るため、児童福祉司任用資格の取得 を行った。東京都主催の子ども家庭支援センター職員研修を受講し た。	継続	相談担当者のスキルアップを図るため、児童福祉司任用資格の取得を 行った。東京都主催の子ども家庭支援センター職員研修を受講した。
				健康課	継続	・症例検討会を実施した 年12回 ・症例検討会の一環として、母子保健事業従事者を対象に、「エジン バラ(EPDS)」をテーマに講演会を実施した	継続	・症例検討会を実施した 年12回 ・症例検討会の一環として、訪問指導員を対象とした「妊産婦支援」に かかわる研修を、母子保健事業従事者を対象に「ケース対応のポイン ト」をテーマに講演会を実施した	継続	・症例検討会の実施 年12回 ・症例検討会の一環として、母子保健事業従事者を対象に、講習会を 実施
1999				関係各課						

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（4）情報

				22.4月組織改正	22年度			23年度			24年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0103	1重-9	子育て家庭への情報提供の充実 市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。 (再掲)4-1-1	継続	秘書広報課	継続	市報、ホームページと広報媒体の特性を活かした情報発信を行う。	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行う。	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行った。平成24年7月からツイッターによるイベント情報の提供を試行的に開始した。		
				保育課	充実	・市ホームページに認可保育所の欠員状況及び認可保育園、認可外保育施設についての情報を掲載した。また、一部書類のダウンロードを実施した。 ・今年より認証保育所の欠員状況を窓口に掲示した。 ・認可保育所案内、保育園のしおり、認可外保育室の案内の各冊子を作成した。また、子育て支援センターのPR誌を毎月発行した。 ・市ホームページに基幹型保育園の情報提供を掲載した。	継続	・市ホームページに認可保育所の欠員状況及び認可保育園、認可外保育施設についての情報を掲載。 ・認証保育所の欠員状況を掲示 ・認可保育園案内、保育園のしおり、認可外保育室の案内の各冊子を作成した。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報等のお知らせを掲載した。	実施	市HPに認可保育所の欠員状況とともに、毎月20日と1日に認証保育所の空き状況の掲載をおこなった。 ・認可保育所、認可外保育施設の各案内冊子の作成、子育て支援センターのPR誌の発行。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報を掲載		
				子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行		
				関係各課								
0403	2	外国語による広報活動の充実 生活に関わる内容のパンフレットについて、市民・NPOの協力を得て、平易な日本語での記載や外国人登録者数の変化に応じた言語をカバーする等、継続的な推進を図る。	継続	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。多言語版生活便利帳は隔年発行のため、今年度は発行しなかった。	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行した。2,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。		
0605	3	救急医療情報提供の充実 市報や市のホームページを通じて、救急医療情報の提供を充実する。	継続	健康課	継続	市報や市のホームページ、年1回全戸配布の西東京市健康事業ガイド、窓口で配布している西東京市医療マップに、休日の応急診療情報を掲載した。夜間については、24時間対応する東京都医療機関案内サービス(ひまわり)を同様に周知した。	継続	市報や市のホームページ、年1回全戸配布の西東京市健康事業ガイド、窓口で配布している西東京市医療マップに、休日の応急診療情報を掲載した。夜間については、24時間対応する東京都医療機関案内サービス(ひまわり)を同様に周知した。	継続	市報や市のホームページ、年1回全戸配布の西東京市健康事業ガイド、窓口で配布している西東京市医療マップに、休日の応急診療情報を掲載する。夜間については、24時間対応する東京都医療機関案内サービス(ひまわり)を周知している。		
0704	4重-8	育児・子育て相談事業の充実(再掲) 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。 3-2-2-(3)、(再掲)4-2-1	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談699件、活動延べ数8,959件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布するとともに、子ども向け市ホームページに相談先としてのどかを掲載した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談804件、活動延べ数8,214件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談は649件であった。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年1回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。		
				健康課	実施	・育児相談事業(12回開催) 来所者 992人 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,555件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件 ・ファミリー学級にて先輩パパ、ママの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16回開催 延べ参加人数 1,217人	継続	・育児相談事業(12回開催) 来所者 988人 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件 ・ファミリー学級にて先輩パパの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16コース開催 延べ参加人数 1,175人	継続	・ファミリー学級、こんにちは赤ちゃん訪問、育児相談等の場を通して相談できる体制や情報提供に努めた。 ・ファミリー学級では先輩パパからの話等、夫婦に相談できる体制について周知を図った。 ・		
				保育課	充実	これまで4カ所であった地域子育て支援センターを1カ所増設し、平成23年5月より一般開放予定。育児・子育て相談や地域の子育て家庭の支援の拡充を図った。	充実	建替えにより、すみよし保育園に5箇所目の子育て広場を開設し、市民の利便性の向上に努めた。	継続	関係する機関(児童館、学童クラブ等)と連携した。すみよし保育園の年間利用者数 4,460人		
0703			児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。地域の子育て経験者(先輩パパママ)による子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施し定着した。	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。また、保育園など子育て関係機関と連携した事業を実施した。小～高校生年代の児童からの相談は、相談室等を活用し応じた。	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。子育て相談事業のうち児童館が担うべき役割について検討した。			
0701	5	子育てハンドブックの充実、子育て施設・遊び場マップ等の検討 西東京市子育てハンドブックを充実させる。また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。	新規	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 繰り直し	22年度		23年度		24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
	0704	子ども総合支援センターの充実 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育ち・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。 ・要保護要支援の未就学児に対して、母子保健分野と地域子育て支援センターと3者で協議する場を設け連携を図った。
	0702	(再掲)4-1-2	継続	保育課	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。
	0605	(再掲)4-1-2	継続	健康課	継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。	継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。	継続	各事業やこんにちは赤ちゃん訪問等を通して相談を充実しつつ、早期に相談支援に結びつくよう努めた。また、子ども家庭支援センターと日常的に連携を持つよう努めた
	0702	2重-12 公立保育園のブロック化とサービス内容の見直し 地域子育て支援センターを併設した基幹型保育園を中心としたブロック編成を整備し、5園とする。また、公立保育園における障害児の通所型保育や特定保育を検討し、障害児の入所型保育、延長保育、一時保育、地域の親子を中心としたひろば事業充実を図る。	継続	保育課	検討	引続き休日保育について検討	検討	引続き休日保育について検討。 電力供給問題に伴う休日保育について保護者アンケートを実施した。	検討	新規開設保育園での休日保育実施について検討を行った。
	0702	3重-12 地域子育て支援センターの設置・拡充 地域の子育て支援の拠点として、地域子育て支援センターを拡充する。この施設には、地域の子どもと子育て家庭に対応する支援コーディネーター(保育士等)を配置する。また、支援コーディネーターは地域ブロックの中心的役割として、関係施設・機関と連携を図る。	継続	保育課	拡充	・4か所の地域子育て支援センターにおいて①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進②子育て相談・援助③地域の子育て関連情報の提供④子育て及び子育て支援に関する講習会の実施等の活動を行った。 ・母子保健担当主管課で実施していた離乳食講習会を基幹型保育園の事業として実施した。 ・地域子育て支援センターを平成23年5月より1園開設見込み	拡充	・5か所の地域子育て支援センターにおいて①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進②子育て相談・援助③地域の子育て関連情報の提供④子育て及び子育て支援に関する講習会の実施等の活動をおこなった。 ・地域子育て支援センターを5月より1園開設した。	継続	・5か所の地域子育て支援センターにおいて①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進②子育て相談・援助③地域の子育て関連情報の提供④子育て及び子育て支援に関する講習会の実施等の活動以上の①～④を実施した。
	0702	4重-12 保育・地域支援の質の確保と向上 保育園における支援コーディネーターの充実を図り、良質な保育サービスの提供や支援コーディネーターとしての質の向上をめざす。	継続	保育課	継続	認証保育所と基幹型保育園の連絡会を実施した。	継続	認証保育所と基幹型保育園の連絡会を実施した。	継続	認証保育所と基幹型保育園の連絡会を実施した。
	0703	5重-3 児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲) 1-2-2、4-4	継続	児童青少年課	実施	中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。	実施	平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想(公共施設適正配置計画も考慮)に向けて、児童館職員にヒアリングを実施するための準備を行った。	継続	児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0103	6 重-9	子育て家庭への情報提供の充実(再掲) 市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。	継続	秘書広報課	継続	市報、ホームページと広報媒体の特性を活かした情報発信を行う。	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行う。	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行った。平成24年7月からツイッターによるイベント情報の提供を試行的に開始した。
0702				保育課	充実	・市ホームページに認可保育所の欠員状況及び認可保育園、認可外保育施設についての情報を掲載した。また、一部書類のダウンロードを実施した。 ・今年より認証保育所の欠員状況を窓口に掲示した。 ・認可保育所案内、保育園のしおり、認可外保育室の案内の各冊子作成した。また、子育て支援センターのPR誌を毎月発行した。 ・市ホームページに基幹型保育園の情報提供を掲載した。	継続	・市ホームページに認可保育所の欠員状況及び認可保育園、認可外保育施設についての情報を掲載。 ・認証保育所の欠員状況を掲示 ・認可保育園案内、保育園のしおり、認可外保育室の案内の各冊子を作成した。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報等のお知らせを掲載した。	実施	市HPに認可保育所の欠員状況とともに、毎月20日と1日に認証保育所の空き状況の掲載をおこなった。 ・認可保育所、認可外保育施設の各案内冊子の作成、子育て支援センターのPR誌の発行。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報を掲載
0701				子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行
1999				関係各課						
0702	7	乳幼児とふれあう場づくりの推進(再掲) 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。 保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。 小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。	継続	保育課	継続	保育園における中高生のボランティアを積極的に受け入れる。 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込があった。	実施	小学生は職場体験、中学生についてはボランティアを受け入れた。 ・中学校からの依頼 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込み。	実施	小学生、中学生の職場体験、高校生のボランティアを受け入れた。
1503				教育指導課	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、保育園等におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。
0701				子育て支援課	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	
0702	8 重-13	リフレッシュ型の一時保育希望にも対応できるように、公立保育園での一時保育の実施を拡充する。 増大するニーズに対応できるよう、民間活力の導入や施設整備計画とも連動して事業を実施する。一時保育の利用手続きを簡略化し、より利用しやすいものにする。	継続	保育課	拡充	公共施設予約管理システムを使用する予約方法に変更する時期を平成23年11月分からと方向性を定める。	拡充	一時保育実施園を5月に1園、11月に1園の合計2園を増設し、計7園に拡充した。 11月分から公共施設予約管理システムを利用した予約方法に変更し、利用者の利便性を向上させた。	拡充	民間委託された、ひがしふしみ保育園の一時保育室の整備を行い今後の実施に向けてのスケジュールを作成した。
0701	9 重-13	病後児保育の充実 病気回復期の子どもを預かる病後児保育事業(市内2か所で実施)について、施設を活用した情報提供等の検討を含め、一層の充実を図る。病後児保育事業実施施設にコーディネート機能を付与し、送迎サービス等、家庭の状況に応じて最適なサービスを提供するネットワーク事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	市内2箇所で開催している病児・病後児保育施設について、市民へのPR等を含め一層の充実を図る。 2箇所のうち1箇所では定員を4名から6名に増やした	実施	市内2箇所で開催している病児・病後児保育施設について、市民へのPR等を含め一層の充実を図る。	実施	市内2箇所で開催している病児・病後児保育施設について、市民へのPR等を含め一層の充実を図る。
0702				保育課						
0701	10 重-13	病児保育の実施 医療機関附属の病後児保育室で病児を受け入れることを実施していく。	新規	子育て支援課	実施	市内にある病後児保育室2施設のうち1施設にて病児の受け入れを実施した。	実施	市内にある病後児保育室2施設のうち1施設にて病児の受け入れを実施した。	実施	市内にある病後児保育室2施設のうち1施設にて病児の受け入れを実施した。
0702	11 重-13	休日保育の検討 保護者の就業形態の多様化から、仕事と子育ての両立支援として、日曜日や祝日の休日保育の実施検討を推進する。	継続	保育課	検討	認証保育所での休日保育ニーズについて検討した。	検討	新規開設する認証保育所での休日保育ニーズについて検討する。	検討	新規開設保育園での休日保育実施について検討を行った。
0704	12	ショートステイ事業の充実 児童養護施設における短期宿泊型保育事業について、地域のニーズに対応できるように、施設や他組織と連携を図りながら充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	対象年齢2歳を、場合に応じて1歳半から対象とすることとした。 年間延べ利用日数222日	継続	・はなバスにショートステイ事業をPRする記事を掲載し、利用促進を図った。 ・年間延べ利用日数188日	継続	・年間延べ利用日数217日

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 繰り改正	22年度			23年度			24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0703	13	学童クラブ運営の充実 小学校4年生以上の保育は「遊びの学校」事業に移行し、小学校3年生までを現施設で保育することや、就労家庭・ひとり親家庭等の保護の必要な子どもの保育環境を整備すること、時間延長の検討、サービスの充実を図るための運営のあり方について見直していく。 環境が整備された学童クラブ施設の開放を基本として、午前中は乳幼児とその保護者のために開放し、子ども同士の遊び場や保護者たちの仲間づくりを支援する。 また、老朽施設の改善と事業内容を充実するため、施設整備をすすめる。	継続	児童青少年課	継続	市内30番目の学童クラブとして西原児童館内に西原学童クラブを開設した。また、著しく定員が超過している芝久保学童クラブについても第二学童クラブの設置について検討した。	実施	平成24年4月1日開設で(仮称)上向台第二学童クラブを設置することが決まり、芝久保学童クラブの定員超過状況を緩和に結びつけた。	実施検討	上向台第二学童クラブを開設、芝久保学童クラブの定員超過状況が緩和した。 向台小学校の生徒数増加に伴う対応として、第三学童クラブの設置について検討した。 小学校の統廃合に係る学度クラブ整備について検討した		
0704		ファミリー・サポート・センター事業の充実(再掲) 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携して、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようになるための広報を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・サポート会員の声を拾うため、サポート会員連絡会の回数を平成21年1回から平成22年3回に増やした。 ・サポート会員のステップアップ講座をサポート会員のメンタルケアについて行った。	継続	会員交流会と同時開催された社会福祉協議会のふれあいまつりにブースを設置し、パンフレット・資料等を配布。会員交流会では、参加者の市民へ向けて、ファミリー・サポート・センター事業のインフォメーションをするなどして広報を行った。	継続	・ファミリー・サポート・センター事務局との連絡会議を実施し、相互理解を図った。 ・サポート会員ステップアップ研修で障がいのある子どもについて学び、18人が出席した。 ・会員交流会を2回実施し、56人が出席した。		
2002	14 3-2-1		継続	社会福祉協議会	実施	市から委託を受け実施 ・ホームページの整備(必用書類をダウンロード可能にした) ・ステップアップ講習会(サポート会員のメンタルケア) ・会員のしおりの英語版を作成 ・1歳未満児の預かりの集計 ・サポート会員連絡会を3回実施 ・会員交流会として風の子劇団 ・養成講習会の講座数を5講座に変更し、受講者増につなげた ・養成講習会の講座に、「子どもの遊び」を復帰 ・顔合わせ用紙の簡素化	実施	市からの委託を受け実施 ・ステップアップ講習会「いろいろなファミリー会員との関わり方」を開催 ・社会福祉協議会ふれあいまつりにて、ファミリー・サポート・センター10周年記念会員交流会を同時開催し、会員、一般市民を対象に人形劇団ボゴロによる『あかずさん』を上演 ・市と協議し、緊急災害マニュアル作成。更新時に全会員に郵送 ・病児・病後児については、市と協議の結果、実施しないこととなる	実施	市からの委託を受けて実施 ・ステップアップ講習会「障がい児の預かりについて」特別支援学校教諭による講習会を実施 ・養成講習会「子どもを安全に預かるために」の講座を3時間に延長し、実施 ・会員交流会を市内2か所(保谷地区・田無地区)で、ヨガ体験教室を実施 ・長時間の子どもの預かりについて、年齢(月齢)に応じた目安を設定		
0704	15	出産直後及び里帰り出産後の支援の充実 「こんにちは赤ちゃん訪問」や育児支援ヘルパー派遣制度等を活用して、出産直後及び里帰り出産後の家事や子どもの世話などを支援するシステムを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	育児支援訪問事業を延59日実施し、内出産直後の支援は延べ6日であった。	継続	「こんにちは赤ちゃん」事業を実施している部署と連携し、出産後で支援が必要な家庭の情報を共有した。	継続	「こんにちは赤ちゃん」事業を実施している部署と連携し、出産後で支援が必要な家庭の情報を共有した。		
0605				健康課	実施	こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,555件	実施	こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件	継続	こんにちは赤ちゃん訪問の充実と、要支援家庭について早期に支援ができるように、子ども家庭支援センターとの連携をはかっている。		
0701	16	ホームヘルパー派遣事業の推進 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。	継続	子育て支援課	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 18世帯 937回	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 20世帯 777回	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 15世帯 546回		
2002		(再掲) 4-1-4	継続	社会福祉協議会	実施	住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供する。 相談件数16件 実利用件数:9件(登録12件)	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供した。 相談件数23件 利用件数:10件(登録12件) 利用回数:62回	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供した。 相談件数19件 利用件数:5件(登録6件) 利用回数:55回		
0704	17 重-13	在宅児への一時保育サービス等の充実 子どもが保育園や幼稚園へ通っていない子育て家庭が利用できる一時保育の拡充、子育て親子の交流の場の提供、子育て相談の充実、保育サービス情報の提供など、在宅で子育てをしている家庭への子育てサービスの充実を図る。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・母子保健、地域子育て支援センター、児童館、保育園等と連携をとりながら情報の提供を図った。 ・誕生日会や父親支援事業を行い、広場に集うきっかけ作りを行った。	継続	・母子保健、地域子育て支援センター、児童館、保育園等と連携をとりながら情報の提供を図った。 ・誕生日会や父親支援事業を行い、広場に集うきっかけ作りを行った。	継続	・母子保健、地域子育て支援センター、児童館、保育園等と連携をとりながら情報の提供を図った。 ・のどか広場とピッコロ広場で誕生日会や父親支援事業を行い、広場に集うきっかけ作りを行った。		
0702			継続	保育課	継続	各基幹型保育園に配置されたコーディネーターを中心として地域連絡会を開催した。	継続	各基幹型保育園に配置されたコーディネーターを中心として地域連絡会を開催した。	継続	各基幹型保育園に配置されたコーディネーターを中心として地域連絡会を開催した。		
0703			継続	児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的に実施した。地域の子育て経験者(先輩ババママ)による子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的に実施し定着した。	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的に実施した。子育て中の親同士の交流の場の提供や子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的に実施し定着した。児童館のおたよりにておススメの絵本紹介を行った。	継続	各児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的に実施した。絵本紹介を壁面掲示をしたり、おたよりなどで保護者向けに情報提供をした。		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 繰り改正	22年度			23年度		24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0702	18 重-13	保育園の入所枠の拡大 現在、市内保育園の待機児はほとんどが0～3歳児のため、既存の保育園での0～3歳児受入枠を拡充し、待機児の解消を図る。	継続	保育課	拡充	新設私立認可保育園3園(分園1名)入所枠169名、新規公設民営園入所枠79名、建替えによる入所枠増10名 計258名の入所枠を拡大した。	拡充	私立認可保育園(3歳～5歳)の入所枠を増設及び0歳、2歳入所枠弾力化により63名の入所枠を拡大した。	拡充	・私立認可保育園1園を開設し定員60名の入所枠を拡大した。 ・平成25年7月開所私立認可保育園(定員96名)開設準備	
0702	19 重-13	認証保育所等の拡充と保護者助成の充実 待機児解消のため認証保育所等の受入枠を拡大するとともに、保護者の負担を軽減するため保護者助成の充実を図る。	継続	保育課	拡充	平成23年3月に1園(定員30名)及び4月に1園(定員40名)計2園を新規開設し、定員を70名拡大した。	拡充	現在B型の1園をA型に変更することにより、定員の拡大を実施(6名増)。家庭的保育事業を行う保育ママ3名認定することにより15名の枠を拡大した。	拡充	共同実施型家庭的保育を導入し、10名の枠を拡大。保育ママ4名程度新たに認定することによる20名の枠を拡大。	
0701	20 重-13	私立幼稚園の預かり保育推進等の検討 待機児の解消を図るため、私立幼稚園の預かり保育推進等について検討する。	新規	子育て支援課	実施	西東京市内の私立幼稚園における預かり保育の拡充を図るため、幼稚園に対して補助金を交付	実施	西東京市内の私立幼稚園における預かり保育の拡充を図るため、幼稚園に対して補助金を交付	実施	西東京市内の私立幼稚園における預かり保育の拡充を図るため、幼稚園に対して補助金を交付	
0701	21	就園奨励事業の推進 私立幼稚園での幼児教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、就園奨励の充実・推進について、国、都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	
0701	22	私立幼稚園運営助成の充実 私立幼稚園の運営助成の拡充について検討するとともに、国・都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。	
0701	23	駅周辺への乳幼児施設設置の検討 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加などに配慮し、交通アクセスのよい場所への乳幼児の相談、一時保育、たまり場の設置を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討	
0703	24	出前児童館の充実(再掲) 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。1-2-2	継続	児童青少年課	継続	地域特性等に応じた出前児童館を引き続き実施した。	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。	
0402	25	育児休業相談・支援事業の検討	新規	産業振興課	未実施	なし	未実施	なし	未実施	なし	
0404		育児休業の奨励や子育てに理解があり、子どもにやさしい職場環境整備を推進している企業を表彰し、その支援を検討する。		協働コミュニティ課	検討	ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、国や都等関係機関からの啓発ポスターやチラシを掲示及び配布することにより、育児・介護休業法などの各種制度の周知を市内企業(一部)・市民へ啓発を行った。	実施	男女平等参画促進の観点で市内企業に対する意識調査の実施を行うため、予算計上し、要求し続ける。ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、国や都等関係機関からの啓発ポスターやチラシを掲示及び配布することにより、育児・介護休業法などの各種制度の周知を市内企業(一部)・市民へ啓発を行った。	実施	「男女共同参画週間」のイベントや、西東京市男女平等情報誌「バリデ」を通してワーク・ライフ・バランスの推進を図った。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	22年度			23年度			24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0704		父親の育児参加の推進(再掲)		子ども家庭 支援セン ター	継続	・広場で父親参加の交流事業を14回実施し、延368人が参加した。	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延276人が参加した。	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延456人が参加した。		
0404	26	子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。	継続	協働コミュニ ティ課	実施	平成22年6月23日～7月4日の期間「男女共同参画週間」に「パパの極意」として男女が協力して子育て等家庭生活を支える意識が持てるようパパ向けに全3回講座を開催した。①仕事も子育てでも楽しむ極意(ワーク・ライフ・バランスの啓発)②絵本歌・遊び歌ライブ③初心者のための基礎から学ぶ「パパごはん教室」を開催し地域で育児の悩み等を共有できる仲間づくり(パパ友づくり)を促進。またチラシ、ポスターを市内企業に配布。参加者延べ192名、保育23名	実施	夏休み企画「パパの出番ですよ」とだいて、①「紙のからくりを作ろう」を平成23年8月7日(日)②「パパとダイナミックに遊ぼう」を平成23年8月21日(日)に実施し、育児介護休業法改正1年を経過したことに伴い、啓発冊子を作成し配付した。冊子の内容は育児介護休業法の解説と取得時の賃金や社会保障、平成22年度で行った講演会での既に育児休業を取得した市民の生の声を掲載して啓発に努めた。また同事業開催のチラシとポスターを市内企業に配付した。	実施	「男女共同参画週間」のイベントとして、男性の育児参加を促すワーク・ライフ・バランスの講演会を平成24年7月7日(土)に開催。参加者28名 また、男女平等推進センター バリテの登録団体「西東京市パパクラブ」が企画した「家庭・地域・育児を楽しむ父親学級」全6回(毎土曜日)の講座が、NPO等企画提案事業の新規チャレンジ部門で採択され、実施した。		
1603		3-1、(再掲)3-2-2-(1)		公民館	継続 試行	・土日 5講座 ・祝日 2講座	継続試 行	・土日 10講座 ・祝日 2講座	継続 試行	・親子いろいろ体験講座「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施 父と子18人が参加した。		
0605				健康課	継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 述べ参加人数1,217人	継続	・ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加人数1,175人	継続	ファミリー学級 1コース2日間 16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話を開催した。		
0402	27	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進 家庭での子育ての重要性を認識し、家族と一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。 (再掲)3-1	継続	産業振興課	未実施	なし	継続	所管部署からの依頼に応じ、商工会を通じ、商工会会員にパンフレットを配布することは可能。	継続	平成24年7月1日から改正育児・介護休業法が全面施行され、そのパンフレットを商工会に配布した。		
0404		再雇用制度に対する情報提供の充実 出産・育児による離職者が、職場への復帰や再就職がしやすくなるように、雇用情報の提供を充実する。		協働コミュニ ティ課	実施	10月9日・16日・23日・30日の全4回講座で「応援します！お母さんのための就職活動」とし、①やりたい仕事の見つけ方②仕事と子育ての両立③応募書類の書き方④自分に似合うカラーを見つけるを保育付で実施。参加人数延べ32人・保育延べ16人	実施	就職支援講座「カラーコーディネート講座」を連続全2回講座を開催	継続	共働き家庭を選ぶ家庭が、どうしたら楽しくできるかを、経済的、国際的視野で学ぶ講座を保育付きで開催。参加者17名。保育18名		
0402	28		継続	産業振興課	実施	第1回就職支援セミナー平成22年6月15日、16日、17日実施。セミナー参加者145人。保育サービス合計7人。 第2回就職支援セミナー平成22年10月26日、27日、28日実施。セミナー参加者88人。保育サービス合計8人。 女性のための再就職支援セミナー平成23年1月17日実施。セミナー参加者30人。保育サービス6人。 若者向け就職支援セミナー平成23年3月8日実施。セミナー参加者6人。	実施	第1回就職支援セミナー平成23年6月28日、29日、30日実施。セミナー参加者126人。保育サービス合計6人。 第2回就職支援セミナー平成23年10月25日、26日、27日実施。セミナー参加者138人。保育サービス合計5人。 女性のための再就職支援セミナー平成24年1月20日実施。セミナー参加者39人。保育サービス7人。 若者向け就職支援セミナー平成24年3月1日実施。セミナー参加者2人。	実施	第1回就職支援セミナー平成24年6月26日、27日、28日実施。セミナー参加者141人。保育サービス合計14人。 第2回就職支援セミナー平成24年10月23日、24日、25日実施。セミナー参加者129人。保育サービス合計3人。 女性のための再就職支援セミナー平成25年2月22日実施。セミナー参加者40人。保育サービス7人。 若者向け就職支援セミナー平成25年2月28日実施。セミナー参加者3人、個別相談3人。		
0701	29	母子福祉資金貸付事業の推進 ひとり親家庭の子育て負担を軽減するため、母子福祉資金貸付事業を継続する。	継続	子育て支援 課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施		
0701	30	国、東京都等の補助活用の推進及び制度変更等への対応 子育て支援にかかる国や都の補助制度等の活用を促進する。また、国、東京都等の制度変更等に対しては、必要に応じた子育て支援策を検討、実施する。	継続	子育て支援 課	実施	引き続き実施。	実施	引き続き実施。	実施	引き続き実施。		
1999				関係各課								
0701	31	子どもの医療費の負担軽減 子どもの保健の向上と健やかな育成を図るため、子どもに係る医療費の一部を助成することによって子育て支援に資する。	継続	子育て支援 課	実施	引き続き実施。	実施	引き続き実施。23年10月より所得制限を撤廃し、さらなる制度拡充を図った。	実施	引き続き実施		
0701	32	子ども手当の実施 国が創設する子ども手当を支給することにより、子育て期の親の経済的負担を軽減する。	新規	子育て支援 課	実施	引き続き実施。	実施	引き続き実施。	実施	国の制度改正に伴い、24年度から児童手当を支給した。		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 2障害のある子どもを育てる家庭の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0704	1重-11	子ども総合支援センターの充実(再掲) 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育て・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。 ・要保護要支援の未就学児に対して、母子保健分野と地域子育て支援センターと3者で協議する場を設け連携を図った。	
				保育課	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	
				健康課	継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。	継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。	継続	要保護児童対策の観点から、母子保健事業を通じ予防に取り組み、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関との連携を深めた。また、双方の役割や機能について確認しながら支援が途切れることが無いように努めた。	
0704	2重-15	相談から、フォローアップまでを行う事業の展開 相談からフォローアップまでを総合的に支援するため、子ども家庭支援センターに支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、医療・福祉・教育機関と連携して、支援を必要とする子どもへのトータル的な支援を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	「ひよっこ」「ひいらぎ」の統合に向けて準備を開始した。東京都に事業所の事業内容変更届を提出し、承認される。2つの事業所での事業内容、業務分担等を決定し、4月からの開所に向けて作業を行った。発達支援コーディネーターについては引き続き、その業務について検討を行った。	実施	発達支援コーディネーターを配置し、相談の充実が図れた。また分室ひよっこで課題学習グループ、親子参加グループを開始し、利用者を増やした。	実施	発達支援コーディネーターが中心となり、年100件以上の相談を受けた。また、関係幼稚園・保育園には各職員も園訪問を行ない、トータルな支援に努めた。	
0605	健康課			継続	相談事例に対し、必要に応じて関係各課との連携を図った。	継続	相談事例に対し、必要に応じて関係各課との連携を図った。	継続	電話・来所の相談、また関係機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図る。		
0704	3重-14	障害のある学齢児の療育・リハビリ機能の充実 子ども総合支援センターでの療育・リハビリを提供する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	言語・機能訓練の年齢を乳幼児に限定し、乳幼児に対する利用の拡充を進めてきた。	実施	分室ひよっこでの個別機能訓練の機会を増やし充実させた。	継続	ひいらぎ、分室ひよっこでの言語・身体機能訓練の回数を調整し、利用者が利用しやすい配慮を行った。	
0604	4重-14	障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進(再掲) 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。 早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。 就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。 乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。	継続	障害福祉課	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。	
0704				子ども家庭支援センター	継続	発達支援係と健康課母子保健担当、保育園・幼稚園等との連携を図りつつ、「ことば」「からだ」「発達全般」と内容により、各専門療育者及び発達支援係職員が対応した。21年度に引き続き、ひよっこことしの統合に向け、コーディネート機能の充実を図るべく、検討を行った。	実施	職員1名が発達支援コーディネーターとして相談、関係機関との連携業務に専念し、相談・連携の充実が図れた。	実施	発達支援コーディネーターが年間100件以上の相談を受け、関係機関との連携業務では毎月数回の園訪問を行うなど相談・連携の充実が図れた。	
1505				教育支援課	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級指導学級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。また保護者の希望により保育園や、療育施設と連携して「就学支援シート」の作成を依頼し、就学先の小学校へ送付し継続した支援を円滑に出来るように取組んだ。	
0702	5重-14	障害児保育の充実(入所型と通所型の障害児保育の充実と推進) 保育園での入所型障害児保育の充実及び通所型障害児保育の検討を推進する。また、学童クラブの利用の推進と、児童館での放課後活動事業を促進する。指導相談の充実を努める。	継続	保育課	継続	・入所型障害児保育は全園で実施した。通所型障害児保育については未実施。	継続	・入所型障害児保育は全園で実施した。通所型障害児保育については未実施。	継続	・入所型障害児保育は全園で実施した。通所型障害児保育については未実施。	
0703				児童青少年課	継続	学童クラブにおいては、毎年、障害児の受け入れを行っているところである。また、児童館においてもノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行っている。	継続	学童クラブで小学6年生までの障害児の受け入れを行っている。また、児童館においてもノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行っている。	継続	児童館では、ノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行った。学童クラブでは小学6年生までの障害児の受け入れを実施した。	
0704				子ども家庭支援センター	検討	ひよっこ・ひいらぎの一元化にむけ具体的な準備作業に入るが、通所保育に関しては今後の課題として次年度以降に検討予定。	検討	分室ひよっこでの新規事業を増やし、軌道に乗せるよう取り組んできた。	継続	平成24年11月に通所型障害児保育の検討会を行った。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

所管課番号		番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正 担当課	22年度 実績	具体的な取り組み内容	23年度 実績	具体的な取り組み内容	24年度 実績	具体的な取り組み内容
0701	6重-14		障害児の幼稚園入園に対する支援の推進 障害のある子どもの幼稚園入園や、入園後の支援を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
0703	7重-14	0604	障害児放課後活動としての常設場確保 障害のある子どもたちが、放課後や休日に充実した時間が持てるよう、放課後活動の常設場所の確保を検討する。学齡児対象としては、児童館での放課後活動を推進する。	継続	児童青少年課	検討	第三次行政改革大綱の実施項目として児童館・学童クラブの民間委託が掲げられている。再編成に伴う施設の運営方法、学童クラブとの関係性などのなかでハンディキャップのある児童への基本的考え方をさらに検討した。	検討	再編成に伴う児童館の運営方法、学童クラブとの関係性などのなかでハンディキャップのある児童への基本的考え方をさらに検討した。	検討	再編成に伴う児童館の運営方法中で障害児の対応についての検討した、学童クラブとの関係性などの中で障害のある児童への基本的考え方について検討した。
0701					子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
0604					障害福祉課	継続	委託事業・さざんかクラブ 開所日数102日、利用延べ人数2295名 補助事業・ばんび 開所日数97日、利用延べ人数767名	継続	委託事業・さざんかクラブ 開所日数103日、利用延べ人数 2484名 補助事業・ばんび 開所日数96日、利用延べ人数768名	継続	委託事業・さざんかクラブ 開所日数96日、利用延べ人数759名 なお、さざんかクラブ、ばんびそれぞれについて、障害者自立支援法又は児童福祉法上の事業への移行を検討した。
0701	8重-14		障害児のいる家庭へのホームヘルパー派遣事業の推進 障害のある子どもとその家族へ、必要に応じて介護及び家事ヘルパーを派遣し、子育て支援をする。	継続	子育て支援課	継続	関係各課と連携して取り組んだ	継続	関係各課と連携して取り組む	実施	関係各課と連携して取り組んだ。
0604	9重-14		緊急入所事業の実施 障害のある就学児童とその家族を対象とした施設緊急一時保護事業を活用することにより、緊急時の支援をする。	継続	障害福祉課	継続	心身障害者(児)施設緊急一時保護事業実績 利用実人数24名、利用延べ日数249日	継続	心身障害者(児)施設緊急一時保護事業実績 利用実人数27名、利用延べ日数242日	継続	心身障害者(児)施設緊急一時保護事業実績 利用実人数19名、利用延べ日数209日
0604	10重-14		障害児を育てる親のレスパイトケア機能の実施 障害のある子どもを育てる親の負担を一時的に緩和すること(レスパイトケア)により、その後の子育ての活力を回復するため、短期入所事業や就学児童の日中一時支援事業を実施する。	継続	障害福祉課	継続	自立支援法に基づき実施	継続	自立支援法に基づき実施	継続	自立支援法に基づき実施
1501	11重-14	1503	特別支援教育の充実 障害のある児童・生徒の特別な教育的ニーズに応え、学校が、家庭や地域社会、関係機関と連携し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸長する多様な教育を展開するよう努める。 中学校の通級制度を開設する。 小学校において巡回指導員、保護指導員配置事業を実施し、通常学級で学ぶ障害のある児童への対応を図る。	継続	教育企画課	継続	田無第二中学校に情緒の通級指導学級を開設した。	継続	特別支援学級の現状と今後の見込みについて調査した。	継続	特別支援教育検討委員会を設置し、特別支援学級の増設について検討した結果、すみやかに固定学級を開設していく必要があるとの方向性を確認した。
1503					教育指導課	継続	市内公立小学校の通常学級に在籍している発達障害のある児童について、各学校からの支援要望に基づき、教室での行動観察、担任、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育アドバイザー等と児童一人ひとりの教育的ニーズを勘案して配置した。	継続	特別支援教育研修会を4回開催し、特別支援教育に関わる教員の理解を深めた。特別支援教育コーディネーター連絡会で検討を行い、市立小中学校の全保護者向けに特別支援教育の啓発リーフレットを作成した。校内体制強化に向けて、小学校に指導補助員を配置するとともに、巡回指導員による巡回指導を行った。また、専門的な指導・助言を行う学校支援アドバイザーや専門家チームを学校・保育園等へ派遣した。幼児期から小学校への円滑な移行を図るため、子どもの発達センターや市内保育園と連携して就学支援シートの活用を実施した。	継続	特別支援教育検討委員会及び作業部会を設置し、特別支援教育に関する現状・課題の分析を行うことにより、本市としての特別支援教育の在り方や方向性及び具体的な方策を検討した。
1999	12重-14		特別支援学校の充実及び市外にある特別支援学校への通学者に対する取り組みの充実 市外にある特別支援学校通学者やその保護者に、地域情報提供の充実と地域との結びつきを強める取り組みの充実を図る。	継続	関係各課						

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0703	13 重- 14	障害者、異年齢世代との交流事業の推進 障害のある子どもも、健常児も、年齢に関わりなく交流することで、情報交換とノーマライゼーションの啓発を図る。	継続	児童青少年課	継続	児童クラブにおいては、毎年、障害児の受け入れを行っているところである。また、児童館においてもノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行っている。	継続	児童クラブにおいては健常児、障害児が隔てなく、年齢関係なく交流することで、ノーマライゼーションの啓発へとつながった。また、児童館においてもノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行った。	継続	児童館ではノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れ。児童クラブでは引き続き、障害児の受け入れ。その中で、健常児、障害児が隔てなく、年齢関係なく交流することで、ノーマライゼーションの啓発を行った。	
0702				保育課	継続	市内22園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。	継続	市内24園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。	継続	市内22園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。	
0704				子ども家庭支援センター	継続	保育園交流については、計画通りの内容で月1回実施した。年間を通して、ひいらぎ通所児と保育園児のペアを固定し、お互いが交流を深められるように工夫した。住吉会館の交流行事にも前年同様参加し、多数の参加者を得た。	実施	しもほうや保育園との交流を毎月1回行った。住吉会館の交流事業にも七夕の飾りつけに参加したが、1月はインフルエンザの流行により不参加となった。	継続	しもほうや保育園との交流を月1回行った。住吉会館交流行事は開催日が水曜日になってしまい、都合がつかず参加できなかった。	
0604				障害福祉課	継続	児童に限らず一般参加の障害者週間事業等により、障害のある子どももない子どもも、年齢に関わりなく交流することで、情報交換とノーマライゼーションの啓発を図った。	継続	障害者週間の事業として、12月の2日3日にアスタ2階センターコートにおいて、市内障害者団体の活動内容や作品の展示を行った。ノーマライゼーションの理念のもと、障害のある人、ない人が年齢にかかわらず、交流することにより、ノーマライゼーションの啓発を図った。 障害者週間の事業として、12月8日障害者総合支援センターにおいて、「乳幼児期から小学校低学年までの発達障害」をテーマとしたパネルディスカッションを開催、一般市民に対して発達障害のある子どもへの理解を図った。	継続	障害者週間の事業として、12月7日にアスタ2階センターコートにおいて、市内18の障害者団体等の活動内容や作品の展示、手作り品の販売を行った。障害の有無や年齢にかかわらず、交流する機会を設けることにより、ノーマライゼーションの啓発を図った。	
0701	14 重- 14	障害児がいる世帯への手当(児童育成手当(障害手当)・特別児童扶養手当)の充実 児童育成手当、特別児童扶養手当の充実等、障害児がいる世帯への支援の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	引き続き実施。	継続	引き続き実施する。	継続	引き続き実施する。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-3 外国籍の子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 組織改正	22年度			23年度		24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
1503	1	外国人や帰国児童・生徒への日本語指導の充実 外国人や帰国児童・生徒に対し、パンフレット等の配布による日本語講座の紹介、学校への日本語指導員の派遣事業、年間を通じて通級できる日本語適応教室の実施形態の見直しと利用促進を図る。	継続	教育指導課	検討	・校長からの依頼に基づき、日本語指導員の派遣を実施した。 ・日本語適応教室での通室による指導については、通室者がいないので実施形態を検討する。	検討	・校長からの依頼に基づき、日本語指導員の派遣を実施した。 ・日本語適応教室での通室による指導については、通室者がいないので実施形態を検討した。	検討	・校長からの依頼に基づき、日本語指導員の派遣を実施した。 ・日本語適応教室での通室による指導については、通室者がいないので実施形態を検討した。	
1503	2	個別に指導できる指導者の確保 学校での学習内容を個別に補助できる指導者の確保を推進する。	継続	教育指導課	継続	・西東京市多文化共生・国際交流センターと連携し、指導者の確保を図った。	継続	・西東京市多文化共生・国際交流センターと連携し、引き続き指導者の確保を図った。	継続	・西東京市多文化共生・国際交流センターと連携し、引き続き指導者の確保を図った。	
0403	3 重-4	外国語パンフレット・冊子に関する情報提供の充実 既存の外国語のパンフレット・冊子等の情報提供を、外国人登録者数等の変化に応じて継続して整備する。	継続	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハンゲルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。 多言語版生活便利帳は隔年発行のため、今年度は発行しなかった。	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハンゲルによる生活便利帳を発行した。2,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハンゲルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハンゲルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。	
1999				関係各課							
1604	4	外国語本の整備の推進 外国語の絵本など、外国語の本の整備・提供を充実する。	継続	図書館	継続	外国語資料の整備を継続し提供していく。	継続	外国語資料の整備を継続し提供していく。	継続	図書館利用者のリクエストに対応して、購入した。	
0403	5	外国語の翻訳サービスシステムの充実 保育園や幼稚園、学校などから配布されるさまざまな資料や書類を、外国語に翻訳をするサービスを検討する。	継続	文化振興課	未実施	必要時に業者に翻訳依頼を行うための予算計上を行ったが、活用はなかった。	実施	必要時に業者に翻訳依頼を行うための予算計上を行った。総合防災訓練の参加者募集のためのチラシの英語翻訳。健診資料の英語翻訳。	実施	必要時に業者に翻訳依頼を行うための予算計上を行った。福祉関係資料や通訳派遣事業資料等の翻訳を行った。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-4ひとり親家庭の支援

		22.4月組 織改正	22年度			23年度		24年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0701	1	母子自立支援プログラム策定事業の推進 母子家庭の生活の自立と安定のために母子自立支援プログラム策定事業を推進する。 就業支援・相談体制等、母子家庭が地域の中で安心して子育てできるよう支援していく。	継続	子育て支援課	実施	プログラム策定件数 42件 (うち面接2回以上) 24件	実施	プログラム策定件数 29件 (うち面接2回以上) 15件	実施	プログラム策定件数 26件 (うち面接2回以上) 26件
0701	2	ホームヘルパー派遣事業の推進(再掲) 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。	継続	子育て支援課	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 18世帯 937回	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 18世帯 937回	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 15世帯 546回
2002		4-1-1		社会福祉協議会	実施	住民参加型有償家事援助サービスとして、 産前産後や育児者の体調不良時に家事援助 などを提供する。 相談件数16件 実利用件数:9件(登録12件)	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、 産前産後や育児者の体調不良時に家事援助 などを提供した。 相談件数23件 利用件数:10件(登録12件) 利用回数:62回	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、 産前産後や育児者の体調不良時に家事援助 などを提供した。 相談件数19件 利用件数:5件(登録6件) 利用回数:55回
0701	3	母子家庭自立支援給付金支給事業の推進 母子家庭自立支援教育訓練給付金支給事業と 母子家庭高等技能訓練促進費等支給事業を実施する。	新規	子育て支援課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施
0701	4	母子保護の実施 母子家庭の生活自立のための支援を実施する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施
0701	5	ひとり親家庭等医療費助成事業の充実 ひとり親家庭等の親や子どもが通院又は入院による治療を受けた場合、費用の一部を助成する 制度の充実を都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施
0701	6	母子家庭就学支度金貸付事業の充実 母子家庭福祉資金の就学支度資金貸付の充実 を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施
0701	7	児童扶養手当・児童育成手当(育成手当)の充実 児童扶養手当、児童育成手当の充実を国や都 に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施	実施	引き続き実施

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

			22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0605	1 重- 15	新生児訪問等の推進 「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、新生児・保護者の心身の状況及び養育環境の全件把握に努めるとともに、子育てに関する情報提供をおこなう。連絡が取れないすべての家庭に継続的に働きかけ、健康や発達等の状況を把握する。	継続	健康課	実施	こんにちは赤ちゃん事業の実施に伴い、全件の赤ちゃん訪問を目指し、電話相談から訪問を勧めた。 こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,555件 新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件	実施	こんにちは赤ちゃん事業の実施に伴い、全件の赤ちゃん訪問を目指し、電話相談から訪問を勧めた。 こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件	継続	妊娠届出時に「こんにちは赤ちゃん訪問」の説明を行うことで訪問しやすい状況を作っている。 こんにちは赤ちゃん訪問において、連絡のとれない家庭への訪問を前年以上に実施し、新生児の全件把握につとめた
	2 重- 15	訪問型相談の充実 「こんにちは赤ちゃん訪問」や健診未受診者及び必要な子どもについて実施している訪問型相談について、他機関や関係施設との連携を強化し、産後うつ・虐待などの未然防止・早期発見・解決と、子どもの成長発達の促進を図る。また、乳幼児の家庭への家事援助支援のしくみを構築する。	継続	子ども家庭 支援セン ター	実施	子育ての支援が必要と思われる家庭に対し、育児支援訪問事業を延59日実施した。	実施	子育ての支援が必要と思われる家庭に対し、育児支援訪問事業を延8日実施した。	実施	子育ての支援が必要と思われる家庭に対し、育児支援訪問事業を延46日実施した。
	0605		継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型会議における保育園等との連携会議の出席 ・地域連絡会議（各ブロック会議）における地区担当保健師の出席 ・地域子育て支援センター・コーディネーターの母子保健事業見学の受け入れ ・保育園と連携し離乳食講習会を実施（乳児健診でのチラシ配布及びアナウンス） ・地域子育て支援センター・コーディネーターによるファミリー学級での情報提供 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診の未受診者を把握し、地区担当で訪問を行い、他部門との連携の推進を図った。 ・こんにちは赤ちゃん事業では、産後うつ・虐待などの未然防止・早期発見・解決の観点から、【エジンバラ（EPDS）】を用いた訪問指導を行うことにした。 ・こんにちは赤ちゃん事業の実施に伴い、全件の赤ちゃん訪問を目指し、電話相談から訪問を勧めた。 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診の未受診者の把握と地区担当フォローを充実。 ・他部門との連携の推進を図った。 ・【エジンバラ】を指標の一つとして訪問指導及び以後の個別ケアを充実させている。 ・こんにちは赤ちゃん訪問において、連絡のとれない家庭への訪問を前年以上に実施し、新生児の全件把握につとめる
0701		子育て支援課	検討	子育てハンドブックに社会福祉協議会「あいあいサービス」の情報を掲載	検討	調査・検討	検討	調査・検討		
0605	3 重- 15	母子保健と保育の連携強化 新生児訪問や乳幼児健診などの母子保健事業と市内関係機関や施設との連携を強化し、妊娠から出産、子育て不安や小児疾患、障害、児童虐待、養育力不足などの要保護児童や家庭に対し、切れ間のない支援を実施する。 また、母子保健事業を子育て支援事業において統一的に行えるよう、行政組織のあり方を見直す。	継続	子ども家庭 支援セン ター	継続	要保護児童や家庭に対して切れ間のない支援を実施するため、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会議を通じて、母子保健や市内関係機関との連携を強化した。	継続	要保護児童や家庭に対して切れ間のない支援を実施するため、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会議を通じて、母子保健や市内関係機関との連携を強化した。	継続	要保護児童や家庭に対して切れ間のない支援を実施するため、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会議を通じて、母子保健分野と基幹型保育園地域子育て支援センターと3者間で情報共有を行った。
	0605		継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型会議における保育園等との連携会議の出席 ・地域連絡会議（各ブロック会議）における地区担当保健師の出席 ・地域子育て支援センター・コーディネーターの母子保健事業見学の受け入れ ・保育園と連携し離乳食講習会を実施（乳児健診でのチラシ配布及びアナウンス） ・地域子育て支援センター・コーディネーターによるファミリー学級での情報提供 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型会議における保育園等との連携会議の出席 ・地域連絡会議（各ブロック会議）における地区担当保健師の出席 ・地域子育て支援センター・コーディネーターの母子保健事業見学の受け入れ ・地域子育て支援センターと連携し離乳食講習会を実施（乳児健診でのチラシ配布及びアナウンス） ・地域子育て支援センター・コーディネーターによるファミリー学級での情報提供 	継続	・関係機関との会議や連絡会への出席や情報提供を通して切れ間のない支援が行えるよう努めた。
	0702		継続	保育課	継続	関係機関との連携会議やブロック会議に保健師が参加し事業についての連携を深めた。また、母子保健と協力し離乳食講習会を実施した。	継続	関係機関との連携会議やブロック会議に保健師が参加し事業についての連携を深めた。また、母子保健と協力し離乳食講習会を実施した。	継続	関係機関との連携会議やブロック会議に保健師が参加し事業についての連携を深めた。また、母子保健と協力し離乳食講習会を実施した。母子保健も含めた連携の仕組みを検討した。
	0701		子育て支援課	検討	検討	検討	検討			

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

22.4月組 繰り直し			22年度			23年度			24年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
0605	4	母子健康手帳交付及び乳幼児健診の活用による母子保健の推進 地域における妊娠期からの切れ目のない支援を展開するために、母子健康手帳を地域子育て支援センター(基幹型保育園)などで交付することを実施に向けて検討する。また、乳幼児健診を活用した健康教育・相談、情報提供を推進する。また、健診内容の統一を図るためのマニュアル整備、他部門(子育て支援、社会教育、学校、保育園等)との連携の推進、受診しやすいしくみと受診率低下の防止、育児グループの開催等、多角的に事業を実施する。	新規・継続	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センターでの母子健康手帳の交付 ほっとサロン12回開催 若年ママグループ12回開催 育児グループ(うさびよん)11回開催(びよんびよん)20回開催 育児相談 12回開催 1,003人 ぱくぱく相談 24回開催 健診の未受診者に対して案内はがきの送付、電話での状況把握、受診勧奨、訪問を行った。 1歳6か月歯科健診の個別化に伴い、健診内容の統一をはかるためのマニュアル、アンケートの整備をした。また、1歳児クラス、2歳児すくすくクラスを新設し、3歳までの健康教育の充実を図った。 地域子育て支援センター・保育園などの情報提供と連携。 健診会場が一箇所になったため、受診しやすいよう対策を講じた。(乳児健診とBCGの同時開催、シャトルバスの運行、未受診率の調査と把握)⇒会場による受診率低下はみられなかった。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センターでの母子健康手帳の交付 ほっとサロン12回開催 若年ママグループ12回開催 育児グループ(うさびよん)12回開催(びよんびよん)20回開催 育児相談 12回開催 988人 ぱくぱく相談 24回開催 健診の未受診者に対して案内はがきの送付、電話での状況把握、受診勧奨、訪問を行った。 1歳6か月歯科健診の個別化に伴い、健診内容の統一をはかるためのマニュアル、アンケートの整備をした。また、1歳児、2歳児相談会で健康教育を実施し、3歳までの健康教育の充実を図った。 地域子育て支援センター・保育園などの情報提供と連携。 健診会場が一箇所になったため、受診しやすいよう対策を講じた。(乳児健診とBCGの同時開催、シャトルバスの運行、未受診率の調査と把握)⇒会場による受診率低下はみられなかった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳については健康課窓口を中心としつつ、利便性から各出張所、子育て支援課、子ども家庭支援センターでも配布しているが、妊娠中～産後の養育等の相談がある市民も多く、健康課窓口を案内いただくこともあった。 1歳、2歳の相談会、育児相談等の各相談会や相談の場面を通して、育児や子どもの発育・発達について相談できる場を提供するとともに、それぞれの場を通して情報提供にもつとめた 	
				0702	保育課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究
0704	5	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級注3)、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 3-1、(再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)	継続	子ども家庭支援センター	継続	西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> のどか広場、ピッコロ広場において、健康についてのミニ講座を2回実施した 西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 	充実	<ul style="list-style-type: none"> 西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 のどか広場、ピッコロ広場において図書等を活用した事業を実施した。 	
0605				健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間(マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,217人 育児相談 12回開催 992人 子育て講座(歯科編) 24回開催 126組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,128人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,050人 ほっとサロン 11回開催 56組参加 離乳食講習会 12回開催 227人参加 ぱくぱく相談 23回開催 延べ211人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 87組 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間(マタニティークッキング含む) 18回開催 延べ参加者数 1,175人 育児相談 12回開催 988人 子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ほっとサロン 12回開催 113組参加 離乳食講習会 12回開催 228人参加 ぱくぱく相談 24回開催 延べ177人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数 104組 	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター(保育園)との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。	
1603				公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ若い女性を対象にした講座の実施 7講座 総計92回 延べ1,156人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」7回 親子36組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 6講座 総計96回 延べ1,236人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」14回 親子105組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施 	
0701				子育て支援課	検討	検討	検討	検討			

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度	23年度	24年度			
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容
0704		育児・子育て相談事業の充実(再掲) 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。		子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談699件、活動延べ数8,959件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布するとともに、子ども向け市ホームページに相談先としてののどかを掲載した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談804件、活動延べ数8,214件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談は649件であった。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年1回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。
0605	6	3-2-2-(3)、(再掲)3-2-2-(4)	継続	健康課	実施	・育児相談事業(12回開催) 来所者 992人 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,555件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件 ・ファミリー学級にて先輩パパ、ママの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16回開催 延べ参加人数 1,217人	実施	・育児相談事業(12回開催) 来所者 988人 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件 ・ファミリー学級にて先輩パパの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16コース開催 延べ参加人数 1,175人	継続	・ファミリー学級、こんにちは赤ちゃん訪問、育児相談等の場を通して相談できる体制や情報提供に努めた。 ・ファミリー学級では先輩パパからの話等、夫婦に相談できる体制について周知を図った。
0702				保育課	充実	これまで4カ所であった地域子育て支援センターを1カ所増設し、平成23年5月より一般開放予定。育児・子育て相談や地域の子育て家庭の支援の拡充を図った。	充実	建替えにより、すみよし保育園に5箇所目の子育て広場を開設し、市民の利便性の向上に努めた。	継続	関係する機関(児童館、学童クラブ等)と連携した。すみよし保育園の年間利用者数 4,460人
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。地域の子育て経験者(先輩パパママ)による子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的実施し定着した。	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。また、保育園など子育て関係機関と連携した事業を実施した。小～高校生年代の児童からの相談は、相談室等を活用し応じた。	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。子育て相談事業のうち児童館が担うべき役割について検討した。
0605	7	予防接種についての普及啓発の充実 予防接種の重要性を啓発することで接種率を高め、乳幼児の健康を促進する。予防接種未接種者への勧奨を徹底する。	継続	健康課	継続	各種健診事業での予防接種未接種者への予防接種勧奨を図る	継続	各種健診事業での予防接種未接種者への予防接種勧奨を図る	継続	予防接種の変更点や情報については、個別通知の際の周知に加え、ホームページやこんにちは赤ちゃん訪問等を通して迅速な情報提供に努めた。子宮頸がんワクチンについては対象となる生徒向けに市内各中学において説明会を開催した

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-2 医療

				22.4月組 織改正	22年度			23年度			24年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容		継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0605	1	かかりつけ医の推進 1歳6か月児医科健診の個別化に伴い、母子保健とかかりつけ医との連携の重要性が高まっている。専門相談と個別支援が円滑におこなえるようなシステムを構築していく。		継続	健康課	実施	・1歳6か月児健診の医科の個別化をとおし、かかりつけ医との連携をはかった。 ・各健診、各相談・教育事業においたかかりつけ医の普及、啓発につとめた。	実施	・1歳6か月児健診の医科の個別化をとおし、かかりつけ医との連携をはかった。 ・各健診、各相談・教育事業においたかかりつけ医の普及、啓発につとめた。	継続	・1歳6か月児健診のかかりつけ医との連携を引き続き強化している。 ・各健診、各相談・教育事業において、かかりつけ医の普及、啓発につとめた。		
0605	2	かかりつけ歯科医の推進 1歳6か月児歯科健診の個別化に伴い、必要性が一段と高まった「かかりつけ歯科医」を推進するとともに、小学校・中学校の学校歯科保健を充実することで、子どものむし歯予防に努める。		継続	健康課	実施	・1歳6か月児健診の歯科の個別化をとおし、かかりつけ歯科医との連携をはかった。（歯科医師会と定期的な検討会の実施等） ・各健診、各相談・教育事業においたかかりつけ歯科医の普及、啓発につとめた。 ・保育園・小学校・中学校への歯科健康教育については、関係機関と調整を図りながら実施した。 保育園63回・小中学校205回	実施	・1歳6か月児健診の歯科の個別化をとおし、かかりつけ歯科医との連携をはかった。（歯科医師会と定期的な検討会の実施等） ・各健診、各相談・教育事業においたかかりつけ歯科医の普及、啓発につとめた。 ・保育園・小学校・中学校への歯科健康教育については、関係機関と調整を図りながら実施した。 保育園67回・小中学校203回	継続	・1歳6か月児歯科健診の個別化、5歳児歯科健診を通じ、かかりつけ歯科医制度を推進している。 ・1歳児お誕生相談会、2歳児すくすく相談会、お口の健康支援室事業において、普及啓発、周知を行った。		
1502					学校運営課	継続	・前年度同様に継続して実施（小・中学校77回実施）	継続	・前年度同様に継続して実施（小・中学校78回実施）	継続	・前年度同様に継続して実施（小・中学校75回実施）		
0605	3	小児救急医療体制の充実 北多摩北部医療圏との連携により、小児科医師のいる救急医療機関を確保し、小児救急医療体制の充実を図る。		継続	健康課	実施	・多摩北部医療センターで毎週月曜日～金曜日の週5日間実施 ・佐々総合病院で、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週3日間実施	継続	・多摩北部医療センターで毎週月曜日～金曜日の週5日間実施 ・佐々総合病院で、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週3日間実施	継続	・多摩北部医療センターで毎週月曜日～金曜日の週5日間実施 ・佐々総合病院で、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週3日間実施		
0605	4	産科のある医療機関とのネットワークの充実 市内外の産科のある医療機関との連携を強化し、母子の健康管理・養育支援を充実する。		継続	健康課	継続	・地域連携情報用紙を各医療機関に配布した。 ・連絡会議に出席した。	継続	・地域連携情報用紙を各医療機関に配布するとともに、必要なケースについては、電話や面談により連携した。 ・保健所主催による連絡会議に出席した。	継続	・西東京市医師会の産科医会と市の連絡会を設置し、双方の現状を確認・共有した。 ・保健所が主催する会議に継続参加		
0605	5	保健所との連携強化による母子保健サービスの推進 保健所と母子保健担当部署等の連携・協働により、効率的・効果的なサービスを提供する。		継続	健康課	継続	・定期的に連絡調整会議を行った	継続	・定期的に連絡調整会議を行った	継続	各種連絡会等を通して情報共有に努めた		
0605	6	アレルギー相談の実施 乳幼児健康診査・育児相談等で寄せられる、子どものアレルギーに不安や悩みを持つ親からの相談に対し、適切な情報提供や栄養相談などの支援を実施する。		継続	健康課	継続	・育児相談 12回開催 ・離乳食講習会 12回開催 ・ばくばく相談 23回開催 他各種健康診査、教育相談事業などで、適宜個別相談を実施	継続	・育児相談 12回開催 ・離乳食講習会 12回開催 ・ばくばく相談 24回開催 他各種健康診査、教育相談事業などで、適宜個別相談を実施	継続	各種事業を実施した。		
0704	7	心身の思春期相談事業実施の検討 第二次性徴による心身の変化に対し、気軽に相談できる場の整備を検討する。		新規	子ども家庭支援センター	実施	子ども家庭支援センターが子ども自身からの相談も受け付けている機関であることを周知するために、小学校高学年から中学生に対し、リーフレットや携帯用相談カードを配付した。	実施	子ども家庭支援センターが子ども自身からの相談も受け付けている機関であることを周知するために、小学校高学年から中学生に対し、リーフレットや携帯用相談カードを配付した。	実施	子ども家庭支援センターが子ども自身からの相談も受け付けている機関であることを周知するために、小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約3,000部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約9,100部配布した。		
0605					健康課	継続	からだと心の健康相談を充実。面接以外に電話相談を月～金曜日まで専用電話により保健師が直接対応する	継続	からだと心の健康相談の利用者数 ・面接相談 9件 ・電話相談 104件 依頼により、家族の大切さについての家庭科授業を実施 中学校1校91人	継続	広報だけではなく、各事業やホームページでの周知など、周知方法を拡大した		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-3教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22年度		23年度		24年度		
				担当課	実績	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0404	1	子どものための消費者教育の推進 現在実施されている子どものための消費者教育の充実を図るとともに、中・高校生を対象にキャッチ商法などの事例を提示し、子どもへの啓発活動に努める。	継続	協働コミュニティ課	中止	親子を対象とした調理教室を企画したが講師等の都合で中止した。	中止	調理室の改修工事のため	継続	夏休み中に親子を対象とした講座を実施。小・中学校に対し、出前授業利用のPRを実施
1503				教育指導課	継続	・都から配布されたリーフレット等を活用し、各学校の指導計画に基づき、社会科・家庭科等の授業等を通し推進した。	継続	・都から配布されるリーフレット等を活用し、各学校の指導計画に基づき、社会科・家庭科等の授業等を通し推進した。	継続	・都から配布されるリーフレット等を活用し、各学校の指導計画に基づき、社会科・家庭科等の授業等を通し推進した。
0501	2	環境教育の推進 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテンづくりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。	継続	環境保全課	継続	○「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。配布数=2,160部	継続	・「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータなど訂正を行った。2,500部発行。	継続	「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータ等修正した。2,200部発行。
1503				教育指導課	継続	・6月に全小学校の第5学年で、「CO2削減アクション月間」の中で、家庭でのCO2削減に取り組んだ。	継続	・6月に全小学校の第5学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。	継続	・6月に全小学校の第5学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。
0403	3	国際理解教育の推進 我が国の伝統や文化を尊重し、外国の文化や芸術とのふれあいや外国人との交流を深めるなど、国際理解教育を推進する。	継続	文化振興課	実施	・6月27日に地域の留学生を一日家庭に招く「ホームビジット」を実施 ・8月6日及び7日にNPO企画提案事業「ひょうたん島ワークショップ」を実施 ・2月14日に講演会「多文化共生の『わ』を広げよう」を実施	実施	・6月26日留学生ホームビジットを実施。 ・7月26日外国にルーツを持つ子どもたちのための日本語交流バスハイク ・10月16日日本語スピーチコンテスト ・11月5日ひょうたん島ワークショップ ・3月10日子ども対象英語で楽しく	実施	・6月3日日本語教室防災体験ツアー ・6月17日留学生ホームビジットを実施。 ・10月14日日本語スピーチコンテスト ・7/2、10/27、2/14世界とつながろうwith Kids ・3月16日子ども対象英語で楽しく
1503				教育指導課	継続	・総合的な学習の時間において、我が国の伝統や文化を尊重する学習、異文化に触れる学習及び外国人との交流を図った活動を学校の実態に応じて引き続き実施した。	継続	・総合的な学習の時間において、我が国の伝統や文化を尊重する学習、異文化に触れる学習及び外国人との交流を図った活動を学校の実態に応じて引き続き実施した。	継続	・総合的な学習の時間において、我が国の伝統や文化を尊重する学習、異文化に触れる学習及び外国人との交流を図った活動を学校の実態に応じて引き続き実施した。
1503	4	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進(再掲) 1-2-3	継続	教育指導課	実施	・情報教育担当者連絡会を2回実施し、情報教育の充実を図った。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図る。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図る。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。
0403	5	人としての権利を尊重する教育の推進(再掲) 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。	継続	文化振興課						
0404				協働コミュニティ課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)、人権バスハイク(国立ハンセン病資料館・多磨全生園の見学)の実施
1503				教育指導課	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施した。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め年間5回研修を実施し、その成果を各学校で周知した。	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。
1505	6	スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化(再掲) 中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 (再掲)1-1-3	継続	教育支援課	継続	スクールカウンセラーが配置されていない小学校17校に対し教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーと教育相談センター派遣の心理カウンセラーが一堂に会する定期的な連絡会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続	新たに小学校4校への都スクールカウンセラー配置を実現した。まだ配置されていない小学校13校には、継続して教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーとの連携を強化するために、教育相談センターとの定期的な連絡会に加えて、必要に応じて教育相談センターと情報交換や相談を行った。	充実	都スクールカウンセラーが配置されていない小学校には、引き続き教育相談センターから心理カウンセラーを派遣した。都に対しては、全小学校へのスクールカウンセラーの配置の要望を引続き実施した。結果、平成25年度から中学校と同様に全校に配置することとなった。
1501	7	西東京市教育関係者連絡会議の検討 公・私立学校の関係者を中心とした情報交換の場の設定など、公立、私立一緒の場で、西東京市における教育について、定期的に話し合う場を検討する。	新規	教育企画課	継続	定期的に開催される私立学校出席の会議で意見交換を行った。	継続	公立学校は、校長会、副校長会等で情報交換を行った。私立学校に対しては、定期的な連絡会に加えて、必要に応じて教育相談センターと情報交換や相談を行った。	継続	公立学校は、校長会、副校長会等で情報交換を行った。私立学校に対しては、必要に応じて意見交換を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-3教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22年度		23年度		24年度		
				担当課	実績	実績	実績	実績	具体的な取り組み内容	
0704	8	幼・保・小・中学校の交流・連携の推進 公立・私立の垣根を超えて、保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流の機会を推進し、発達障害・要保護児童の支援に対する連携の強化と情報の共有を図る。 要保護児童対策地域協議会の場も有効に活用していく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	幼稚園、子育て支援部共催で「幼稚園時代に親がすべきこと、できること～安心して思春期を迎えるために～」と題した講演会を実施した。参加者は499人であった。	継続	・西東京市私立幼稚園連絡協議会、子育て支援部共催で「子育ては楽しい?!」と題した講演会を実施した。参加者は343人であった。 ・幼稚園・保育園・小・中学校の代表者が出席する要保護児童対策地域協議会実務者会議で要保護・要支援児童についての情報共有等を行った。 ・市内の私立幼稚園を訪問し、要保護・要支援児童について情報共有を行った。	継続	・西東京市私立幼稚園連絡協議会、子育て支援部共催で「早寝、早起き、朝ごはんのすすめ～子どもの発達と生活リズム～」と題した講演会を実施した。参加者は253人であった。 ・幼稚園・保育園・小・中学校の代表者が出席する要保護児童対策地域協議会実務者会議で要保護・要支援児童についての情報共有等を行った。 ・市内の認証保育所を訪問し、要保護・要支援児童について情報共有を行った。
				教育指導課					継続	保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流の機会を推進し、発達障害・要保護児童の支援に対する連携の強化と情報の共有化を図った。
				子育て支援課	調査研究	各園において、地域の小学校との個別の連携をしているようである。	調査・研究	各園において、地域の小学校との個別の連携をしているようである。	調査・研究	各園において、地域の小学校との個別の連携をしているようである。
				保育課	調査研究	調査・研究	調査研究	調査・研究	調査研究	調査・研究
1601	9	地域の人材発掘・活用の推進（再掲） 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。 人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。	継続	社会教育課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成23年3月31日現在63人、124件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成23年3月31日現在21人から37講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成24年3月31日現在68人、141件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成24年3月31日現在25人から35講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った(平成25年3月31日現在68人、128件登録) ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成25年3月31日現在28人から47講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。
				社会福祉協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷・武蔵)。福祉体験授業への協力(田無)。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校30プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(10校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。
				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・理科 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・国語 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)
				関係各課						
1503	10	学校へのパソコン設置の充実 学校でのパソコン活用環境をインターネットに接続できたり、自主的に使用できる時間の確保など内容を充実するとともに、ネットワーク社会に対応できるような指導の充実を図るため、教員のICT環境の充実及び活用支援を実施していく。	継続	教育指導課	継続	・策定された「西東京市教育情報化推進計画」に基づき、事業を実施。地上デジタル放送の有効活用やコンテンツの充実により、「情報活用能力の育成」と「分かる授業の実践」を図った。 ・引き続き、ICTサポート活用事業を実施し、「情報モラル教育」の更なる充実を図った。	継続	・策定された「西東京市教育情報化推進計画」に基づき、事業を実施。地上デジタル放送の有効活用やコンテンツの充実により、「情報活用能力の育成」と「分かる授業の実践」を図った。 ・引き続き、ICTサポート活用事業を実施し、「情報モラル教育」の更なる充実を図った。	実施	・学校セキュリティポリシーの改訂作業を行うとともに、「西東京市教育情報化推進計画」について3年間の総括を行い、報告書を作成した。 ・引き続き、ICTサポート活用事業を実施し、「情報モラル教育」の更なる充実を図った。
1503	11	学校図書館の充実	継続	教育指導課	継続	・相互貸借の研修会を実施し、システムに相互貸借管理を行った。 ・蔵書点検の実施の拡充を行い、図書の詳細な管理を行った。	継続	・相互貸借の研修会を実施し、システムに相互貸借管理を行った。 ・蔵書点検の実施の拡充を行い、図書の正確な管理を行った。	継続	・相互貸借の研修会を実施し、システムに相互貸借管理を行った。 ・蔵書点検の実施の拡充を行い、図書の正確な管理を行った。
1502		各校の蔵書の更新・拡充を計画的にすすめ、地域の学習センター機能の充実を図るとともに、選書や運営等への子どもも参加を推進する。		学校運営課	実施	図書購入費は各学校に配当し、児童・生徒の要望を取り入れ図書館の充実を図った。	実施	図書購入費は各学校に配当し、児童・生徒の要望を取り入れ図書館の充実を図った。	実施	図書購入費は各学校に配当し、児童・生徒の要望を取り入れ図書館の充実を図った。
1604	12	図書館事業の拡充 子どもたちの心の成長にとって大切な本への関心を図るため、読み聞かせ事業、所蔵図書の充実にも努める。	継続	図書館	継続	おはなし会ボランティア等の活用による図書館内でのおはなし会の充実 職場体験、職場訪問、図書館見学、1日図書館員等の実施。 図書館の推薦図書年齢別リスト作成、学校配布。	継続	おはなし会ボランティア等の活用による図書館内でのおはなし会の充実 職場体験、職場訪問、図書館見学、1日図書館員等の実施。 図書館の推薦図書年齢別リスト作成、学校配布。 「夏休み・すいせん図書」記念号「で・あ・い」「道しるべ」の作成・発行を実施。	継続	おはなし会ボランティア等の活用による図書館内でのおはなし会の充実 職場体験、職場訪問、図書館見学、1日図書館員等の実施。 図書館の推薦図書年齢別リスト作成、学校配布。
1503	13	図書館、学校図書館のネットワーク化の推進	継続	教育指導課	継続	・学校図書館と公共図書館のネットワーク化を有効に活用し、司書教諭と図書館専門員を中心に連携を継続した。 ・公共図書館の貸出しや利用マナーの学習、公共図書館からの団体貸出しによる、図書の充実等を図った。	継続	・学校図書館と公共図書館のネットワーク化を有効に活用し、司書教諭と図書館専門員を中心に連携を継続した。 ・公共図書館の貸出しや利用マナーの学習、公共図書館からの団体貸出しによる、図書の充実等を図った。	継続	・学校図書館と公共図書館のネットワーク化を有効に活用し、司書教諭と図書館専門員を中心に連携を継続した。 ・公共図書館の貸出しや利用マナーの学習、公共図書館からの団体貸出しによる、図書の充実等を図った。
1604		図書館		継続	配本及び回収車の定期的な運行。(運行回数49回、貸出673箱、回収775箱)団体貸出の実施。(32,464冊)学校図書館専門員への支援。学校図書館専門員連絡会に参加。	継続	配本及び回収車の定期的な運行。(運行回数49回、貸出761箱、回収919箱)団体貸出の実施。(34,012冊)学校図書館専門員への支援。学校図書館専門員連絡会に参加。	継続	配本及び回収車の定期的な運行。(運行回数50回)団体貸出の実施。学校図書館専門員への支援。学校図書館専門員連絡会に参加。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	実績	具体的な取り組み内容	
0703	1重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。同時に、運営方法についても子ども参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲)1-2-2、4-1-1	継続	児童青少年課	実施	中高生年代にも対応した特化型児童館(ひばりが丘児童センター及び下保谷児童センター)を整備した。運営については、第三次行政改革大綱に民間委託が掲げられたことから、選定委員会を設置し事業者を選定した。同時に中高生年代の居場所づくりとして夜間・休日の利用についても本格実施した。	実施	平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想(公共施設適正配置計画も考慮)に向けて、児童館職員にヒアリングを実施するための準備を行った。	継続	児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。	
0703	2重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲) 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。 1-2-2、(再掲)3-2-2-(2)	継続	児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力したデイキャンプなどを継続的に実施した。	継続	出前児童館の開催や育成会と協力した行事などを継続的に実施した。放課後子ども教室は、2/19校で開設され情報共有を行う程度であった。	
1601				社会教育課	検討	・児童青少年課との協議	検討	・先進市における放課後子供教室事業の視察や社会教育委員の会議における提言内容を整理し、事業の実施に向けた具体的な検討を行う。	実施	・放課後子供教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。	
0411	3重-16	防犯対策の充実(再掲) 市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員注1)・児童委員注2)、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。 また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。 防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。 1-2-1	継続	危機管理室(警察)	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。	
0703				児童青少年課	継続	・市内全小学校の育成会連絡会において、地域支援による安全確保を図った。	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。	
1503				教育指導課	実施	・市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。	継続	・市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。	継続	・市内全小学校の学校安全連絡会において、引き続き、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。	
0703	4重-16	子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進(再掲) 災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。 子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポくんの家注1))を引き続き推進すると同時に、ピーポくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。 小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。 (再掲)1-2-1	継続	児童青少年課	継続	育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ピーポくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。	継続	・育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ピーポくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。 ・ピーポくんの家活動の広報活動を実施	実施	・学童クラブ事業における災害時のインターネット上掲示板「安心伝言板」サービスの開始した。 ・「子ども110番ピーポくんの家」活動への支援の継続と市民周知を図った。	
0411				危機管理室	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関(消防署・警察署)への災害時要援護者名簿の提供	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布(H23.11から)	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正		22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	
1501	5 重- 16	通学路、通園路の安全確保の充実 子どもの通学路の交通安全施設の整備を充実するとともに、子どもの通学時の安全を確保するため、通学路の点検、交通擁護員や交通安全協力員の充実を図る。大型土地開発等により変化する子どもの通学路の安全性に配慮し、交通擁護員の配置時間等の改善などを継続的に実施する。	継続	教育企画課	実施 継続	子どもの通学時の安全確保のため、交差点等に交通擁護員を配置するとともに、小学校新1年生に防犯ブザーを配布。	実施 継続	子どもの通学時の安全確保のため、交差点等に交通擁護員を配置するとともに、小学校新1年生に防犯ブザーを配布した。	実施 継続	子どもの通学時の安全確保のため、交差点等に交通擁護員を配置するとともに、小学校新1年生に防犯ブザーを配布した。また、要望のあった学校の通学路において、緊急合同点検を実施し、安全対策を実施した。	
				道路管理課	継続	要望等により、カーブミラーなどの交通安全施設の設置を行った。	継続	要望等により、カーブミラーなどの交通安全施設の設置を行った。	継続	住民、保護者からの要望により、通学路の路側帯内のカラー舗装化、交通安全啓発看板等の設置を行った。	
0702	6	園庭開放の推進(再掲) 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。 3-2-2-(2)	継続	保育課	継続	地域の子育て家庭等と交流を図るため保育園園庭の開放を実施した。	継続	地域の子育て家庭等と交流を図るため保育園園庭の開放を実施した。	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参加があった。	
0703	7	屋外の遊び場の充実(再掲) 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイヤーの派遣を推進する。 1-2-2	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施し、児童館事業への参加を推進する。⇒ ひばりが丘児童館の建替えにあたり屋外にフットサルコートを整備した。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。	
				みどり公園課	検討	特になし	検討	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区(都市計画施設)の指定を計画。	実施	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区として指定した。	
0802	8	身近にボール遊びのできる場所の検討(再掲) 身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。 1-2-2	継続	みどり公園課	検討	特になし	検討	検討	検討	検討	
スポーツ振興課				実施	健康広場個人開放事業(指定管理者)	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)		
児童青少年課				実施	中高校生年代に対する魅力ある児童館づくりの一環としてひばりが丘児童館の建替に合わせフットサルコートを整備した。	継続	特になし	継続	ハード面の設置までは至らなかったが、遊戯室の利用を時間で区切るなどして、他種目のスポーツの実践に努めた。		
0703	9	プレイヤーの養成と活用(再掲) プレイヤーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイヤー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1(再掲)1-2-2、3-2-2-(1)	継続	児童青少年課	継続	今年度、民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座修了者は児童館事業への参加を呼びかけた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。	
社会教育課				検討	・東伏見小学校での出前児童館事業を支援し、プレイヤーの活用の機会について児童青少年課と協議した。	検討	・プレイヤー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。	検討	・プレイヤー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。		
0703	10	地域の子育て意識の醸成(再掲) 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるという意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。 3-1	継続	児童青少年課	継続	・青少年健全育成諸活動を行う各種団体への後方支援を行った。 ・育成会全体事業「歩け歩け会」、各育成会においての事業展開を支援した。	継続	青少年育成会等が実施する地域の人々(小・中学校、PTA、地域サークル、児童館等)が連携する事業を支援した。	継続	地域の関係機関や市民団体等が関わりながら実施する青少年育成会等の事業を支援した。	
0701				子育て支援課	検討	調査・研究	検討	調査・研究	検討	調査・研究	
1503	11	交通安全教育の推進 各校で年間の指導計画を作成している交通安全教育について、計画的に取り組むとともに、家庭教育との連携を図る。	継続	教育指導課	継続	・各学校において安全教育の年間指導計画の見直しを行い、取組の充実を図った。 ・小学校では、PTAと連携し交通安全指導や見守り活動を継続して実施する。 ・中学校では、スタントマンによる自転車安全教室を実施した。	継続	・各学校において交通安全教育の年間指導計画の見直しを行い、取組の充実を図った。 ・小学校では、PTAと連携し交通安全指導や見守り活動を継続して実施した。 ・中学校では、スタントマンによる自転車安全教室を実施した。	継続	・各学校において交通安全教育の年間指導計画の見直しを行い、取組の充実を図った。 ・小学校では、PTAと連携し交通安全指導や見守り活動を継続して実施した。 ・中学校では、スタントマンによる自転車安全教室を実施した。	
0806	12	コミュニティバスの充実 交通不便地域・バス空白地域等の解消や交通弱者の移動手段の確保に努める。	継続	都市計画課	継続	4月開催の「西東京市地域交通会議」にルート等見直しに関する最終報告書を提出。パブコメでいただいた意見の結果を5月に公表した。 さらに、短期的対応が可能なものについて、ルートの変更、時刻表の改定を10月1日に行った。	実施	乗降調査を実施。	検討	バス停「田無高校」について、バス停を設置している地先の地権者からの移設要望があり、「上向台地区会館」への移設を西東京市地域交通会議にて検討	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	22年度		23年度		24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容	実績	具体的な 取り組み内容
0501	13	環境教育の推進(再掲) 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテンづくりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。	継続	環境保全課	継続	○「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。配布数=2,160部	継続	・「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータなど訂正を行った。2,500部発行。	継続	「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータ等修正した。2,200部発行。
1503		4-3		教育指導課	継続	・6月に全小学校の第5学年で、「CO2削減アクション月間」の中で、家庭でのCO2削減に取り組んだ。	継続	・6月に全小学校の第5学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。	継続	・6月に全小学校の第5学年及び全中学校の第1学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。
0701	14	子育てハンドブックの充実、子育て施設、遊び場マップ等の検討(再掲) 西東京市子育てハンドブックを充実させる。また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。	新規	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行	実施	子育てハンドブックの発行
0701	15	親子施設見学会の検討 市内にある公共施設や公園、運動施設等を広く知ってもらうため、親子がともに学べる見学会の開催を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	検討	調査検討
1999				関係各課						
0701	16 重-5	子どもに関わる制度や事業の評価推進 市で展開する子どもと子育て家庭に関する制度や事業について、計画の理念に照らし合わせた定期的な評価を、子ども福祉審議会を中心に実施し、質の向上を図る。	新規	子育て支援課	検討	調査検討	検討	調査検討	実施	子ども福祉審議会に諮問し、評価・検証を実施